

CREACOMPO[®] II

GRADING MAGIC[®] II

基礎トレーニング 1st

東レ ACS 株式会社

Ver6.1.0.1

1. 知的財産権について

本資料に収録されているコンテンツは、各国の著作権法および関連する条約等で保護されています。したがって、本資料の情報を当社の文書による許諾なしに複製、改変、頒布などを行うことはできません。お客様個人で利用するため、この資料をコピーすることは構いませんが、これを他の資料や印刷媒体に転載することはできません。その他著作権法で認められている範囲を超えて、本資料に収録されているコンテンツを著作権者に無断で使用することはできません。

2. 商標について

本資料上で使用される当社の会社名は商号です。また、「TORAY」及びその他の東レ製品の商品等の名称は商標または登録商標です。当社の商号、商標は、商標法、不正競争防止法及びその他の法律で保護されています。これらを当社の明示の許諾なく使用・複製することはできません。

3. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、原則として、お客様に対し当社の製品・サービスおよび関連情報をご提供する目的、または、当社の製品・サービスを改善する目的に利用いたします。なお、お客様が当社製品の情報・サービスおよび関連情報の提供をご希望されない場合、お客様からお申し出いただければ情報の提供は中止いたします。また、上記以外の目的で、利用目的を事前に明示した上で、本資料を通じて得られたお客様の個人情報は、その利用目的以外には使用しません。

4. 第三者への非開示

お客様からご提供頂いた個人情報は、以下のそれぞれの場合を除き、いかなる第三者にも開示または提供することはありません。

- (1) お客様にご承認いただいた場合。
- (2) お客様の利用目的を達成するために当社の業務委託先または業務提携先に対し開示が必要な場合。ただしこの場合、提供先に対し、個人情報の適切な管理をするよう徹底いたします。
- (3) お問い合わせに対し適切な回答をするために、当社の関係会社への開示が必要な場合。
- (4) 法令等により個人情報の開示が要求された場合、当該官公署に限り開示します。

5. 安全対策

お客様の個人情報を安全に管理・運営するため、個人情報への外部からの不正なアクセス、個人情報の紛失・破壊・改ざん・漏えいなどへの危険防止に対する合理的かつ適切な安全対策を行っています。

6. 免責事項

当社は本資料上の情報について細心の注意を払って更新、提供しておりますが、本資料の情報が誤りを含んでいないこと、有用なものであること、お客様の目的に合ったものであること等は保証いたしません。本資料に掲載されている情報によって、または本資料を利用することで発生したトラブルや損失、損害に対して、当社は一切責任を負いません。また、予告なしに本資料に掲載した情報を変更すること、あるいは本資料の運営を中断または中止させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

7. 製品・サービスの提供地域

本資料に掲載されている製品・サービスは、すべての国・地域でご提供できるものとは限りません。また、国によって異なる商標でご提供している場合もあります。

8. ソフトウェア商標一覧と記述について

資料内の記述については、商標とは別に略称・別称を用いて記述しています。以下にあるのが当社が販売しているソフトウェアの商標と、資料中に使用している略称・別称の一覧です。

商標一覧	読み方	本文中で使用している略称・別称
CREACOMPO®	クレアコンポ	CREACOMPO
PATTERN MAGIC®	パターンマジック	Pattern Magic、PM
GRADING MAGIC®	グレーディングマジック	Grading Magic、GR
MARKER MAGIC®	マーカーマジック	Marker Magic、MR
MARKER MAGIC® Note	マーカーマジックノート	Marker Magic Note、MR Note
XIFORM MAGIC®	サイフォームマジック	Xiform Magic、XM
XIFORM MAGIC® Cloud	サイフォームマジック クラウド	Xiform Magic Cloud、XMC
CREACOMPO® II	クレアコンポーツ	CREACOMPO II
PATTERN MAGIC® II	パターンマジックーツ	Pattern Magic II、PM II
GRADING MAGIC® II	グレーディングマジックーツ	Grading Magic II、GR II
MARKER MAGIC® II	マーカーマジックーツ	Marker Magic II、MR II
PATTERN MAGIC® II SS	パターンマジックーツ エスエス	Pattern Magic II SS、SS

※ パーチャルフィッティングソフト「PATTERN MAGIC® II 3D」は、本文中では「Pattern Magic II 3D、PM II 3D、3D」で記述しています。

※ 「PATTERN MAGIC® II Torso 機能」は、本文中では「Pattern Magic II Torso、Torso」で記述しています。

※ 画像や本文中などにある「クレア」（「クレアDB」など）は、ソフトウェア上での「CREACOMPO®」の略称です。

※ XIFORM MAGIC、XiForm、サイフォームは、日本国内およびその他の国における東レ ACS 株式会社 (Toray Advanced Computer Solution, Inc.) の登録商標または商標です。

※ Microsoft、Windows、Internet Explorer、IIS (Internet Information Services)、SQL Server、ASP.NET、は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標です。

※ Windows® の正式名称は Microsoft® Windows® Operating System です。

※ Oracle は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。

※ Intel® Core® は、米国 Intel Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ Adobe Illustrator 及び Adobe Photoshop は Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

目次

トレーニングの進め方	2	グレーディング後のチェック	39
グレーディングの基本	3	参照動画：GT-04_チェック_1	39
参照動画：GT-00_準備	3	1. 「シフトバリュー」解説	39
グレーディング前に準備すること	3	2. 「重ねチェック」と「シフトバリュー」解説	41
1. グレーディング・ルールマニュアルとは	3	参照動画：GT-04_チェック_2	43
2. ルールマニュアルの種類	4	3. 「サイズ間計測」解説	43
3. ルールマニュアルに記載していること	4	4. 「X フリップ」を設定します	45
グレーディングの流れ	7	補足（サイズ間計測）	46
グレーディング_課題1	9	袖ぐりと袖山の長さ合わせ	47
1. 設定条件でグレーディングします	9	参照動画：GT-04_チェック_3	47
GR情報の設定	11	1. 袖ぐりと袖山長さをチェックします	47
参照動画：GT-01_GR情報	11	2. 袖ぐりと袖山に必要な部位コードを確認します	47
1. GR情報を設定します	11	3. 袖ぐりにグレーディングポイントを追加します	48
(補足)ルール付けパネル	12	衿ぐりと衿付け線の長さ合わせ	49
補足説明	17	参照動画：GT-04_チェック_4	49
部位コードの設定1	18	1. 衿ぐりと衿付け線の長さをチェックします	49
参照動画：GT-02_コード入力_1	18	2. 衿ぐりと衿付け線に必要な部位コードを確認します	49
1. メジャー部位コードを設定します	18	3. 「長さ合わせ結果表」解説	50
2. 対称プランニングの設定をします	21	4. 衿ぐりにグレーディングポイントを追加します	50
参照動画：GT-02_コード入力_2	23	5. ポケット位置を計測します	52
3. ポイントティーチで設定します	23	6. 身頃のポケットの大きさを確認します	52
4. 「Z ノーグレード」コードを設定します	25	7. ポケットの大きさを確認します	52
グレーディング処理とエラー解決1	26	ピッチを変更	53
参照動画：GT-02_コード入力_3	26	参照動画：GT-04_チェック_5	53
1. グレーディング処理をします	26	1. 後鎌深のピッチ変更します	53
2. エラーメッセージを確認します	27	縫い代を付ける	54
3. エラー内容を確認します	27	補足（サイズ表示の切替）	55
「パーツ内に同じ部位コードがあります」	27	グレーディング_課題2	57
4. 「Gセიმ」コードを設定します	28	参照動画：GT-05_ダミー点	57
5. 「Gセიმ」コード解説	29	1. 設定条件でグレーディングします	57
参照動画：GT-02_コード入力_4	32	2. ルールマニュアル「移動量表」の解説	62
6. 「N ノッチ」コードを設定します	32	ダミー点	63
7. 「N ノッチ」コード解説	33	1. 「ダミー点」を作成します	63
グレーディング処理とエラー解決2	36	まとめ	66
参照動画：GT-03_GR処理	36	参照動画：GT-Z_まとめ	66
1. エラー内容を確認します「指示関連部位が見つかりません」	36		
2. グレーディングポイント追加します	37		
「点の追加・削除」	37		

トレーニングの進め方

進め方

このテキストは、シャツデータを使い グレーディング完成までの基本操作を説明していきます。
グレーディング情報設定 → 部位コード設定 → グレーディング処理 と進めます。
そこで発生するエラーの解説をします。エラーの原因と解決方法、決まり事を習得しましょう。
また、グレーディング処理後のチェック操作を解説します。

<進め方>

- 1、ダウンロードした課題データとテキストを準備します。
- 2、テキストとグレーディングルールマニュアルを見ながら課題を進めます。
操作手順は各章ごとにある「参照動画」で確認していきましょう。
- 3、不明な点は「よくある質問集」(ACS-WEB1st_Q&A.zip) もあわせてご覧ください。

このテキストの見方

この章で説明する大項目です。

グレーディングの流れ

参照動画：準備

この章の動画名です。参照動画で操作確認できます。

* ルールマニュアルを見ながら部位コードを設定します。 _____ ここで解説することや操作することを記載しています。

メモ

マニュアルは、ヘルプから印刷できます。

_____ 補足説明を記入しています。



_____ グレーディング・ルールマニュアルの記載ページです。

(決まり事) (注意) (解説)

「G セイムコード」

・ パーツ内のグレーディングポイントと同じ X、Y の移動量を設定します。

_____ 決まり事や、注意事項、知っておくべきことを記載しています。

グレーディングの基本

参照動画：GT-00_準備

* トレーニングに入る前に知っておきたいグレーディングの基本について説明します。
このテキストは、グレーディング・ルールマニュアルの「たて置き」で解説しています。

グレーディング前に準備すること

完成

マスターパターン
今回のトレーニングでは準備しています

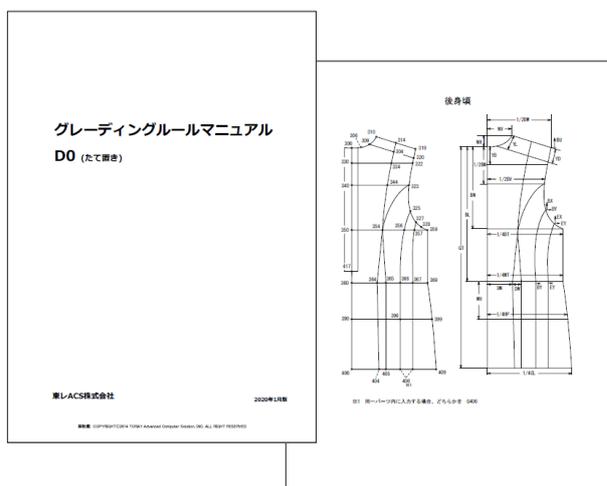
ルールマニュアル

今回のトレーニングでは準備しています

サイズピッチ

製品上り付け法		
採寸箇所	40	42
バスト	91	95
肩幅	36	36.8
着丈	58.9	59.9
袖丈	59.5	60
袖口	18.5	19.3

1. グレーディング・ルールマニュアルとは



アイテムごとに計算式が設定されており、パーツの向きによって「よこ置き」「たて置き」に分かれています。
グレーディングポイントに設定するコード（メジャー部位コード）を記載しています。
ピッチの設定箇所や計算式の確認もできる
グレーディングするために欠かせないマニュアルです。
以下「ルールマニュアル」と表示します。

メモ

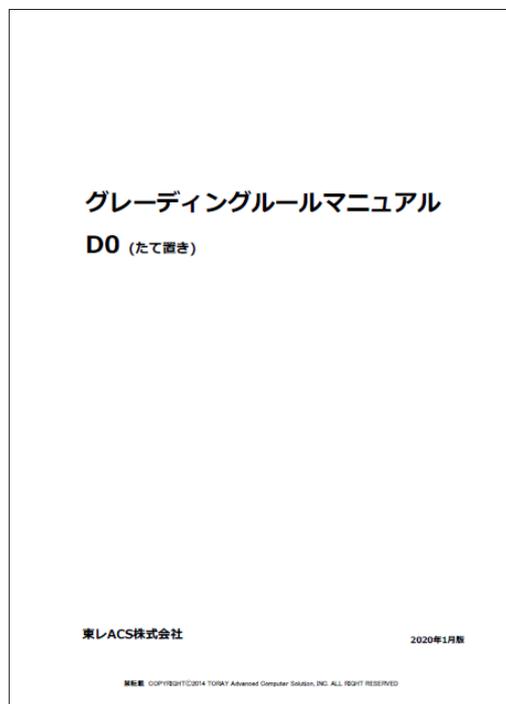
ルールマニュアルは、ヘルプから印刷できます。

2. ルールマニュアルの種類

種類	読み方	詳細
D0	ディーゼロ	上物（セットイン）
R0	アールゼロ	上物（変形袖・ラグランなど）
S0	エスゼロ	スカート
T0	ティーゼロ	パンツ（前後ウエストピッチ等分）
T1	ティーイチ	パンツ（前後ウエストピッチ配分）
M0	エムゼロ	メンズジャケット
M1	エムイチ	メンズベスト

3. ルールマニュアルに記載していること

*トレーニングで使用する「D0」で解説します。



<特別ルール表>

ルールコード: D0

特別ルール	内 容	
1	A	基点から幅平行移動 204,205,206,209
	B	基点と同幅量移動 404,405,406,409
	C	幅幅を指示 209,409
2	A	袖ぐり4分割の長さ合わせ 507,509,517,519
	B	袖ぐり前後との長さ合わせ
	C	袖幅指定(前後等分)
3	A	袖幅と同量移動 551,552,553,554
	B	袖口幅指定(配分指定)
	C	袖幅に対する比率
4	A	袖口幅指定(前後等分) 531,532
	B	袖幅から袖口を平行移動
	C	袖幅に対する比率

デザインごとに決める「脇線」「袖山」「袖口」の移動内容を記載しています。

D0-2~3

<グレーディング標準値計算式>

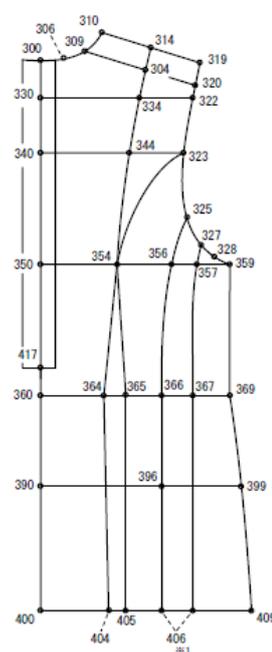
グレーディング標準値計算式

記号	サイズ項目	標準値計算式
後身頃		
BT	バスト	0
WT	ウエスト	BT
BW	背肩幅	0
QT	着丈	0
NC	衿ぐりまわり	0
BN	後縫深	0.13*BT
BL	背丈	BN
HP	ヒップ	WT
BV	背幅	BW
NH	後衿みつ深さ	0.07*NC
NV	後衿みつ幅	0.2*NC
CL	けまわり	0
EX	後細腰切替(X)	0
EY	後細腰切替(Y)	0.083*BT+1/3*BV
DN	後中心~ウエストダーツ	1/2*NV+1/4*BV-1/2*DW
BU	後肩先点	0
DW	後ウエストダーツ間口	0
DG	後肩ダーツ間口	0
WH	ウエスト~ヒップ	0
YB	ヨーク幅(後中心)	1/3*BN
YD	ヨーク幅(後袖ぐり)	0
YL	肩ヨーク(後衿ぐり)	0
BX	後袖ぐり線上(X)	1/2*BN
BY	後袖ぐり線上(Y)	1/2*BV

ピッチを割り出す計算式です。
必要な箇所はピッチ指定します。

D0-4~41

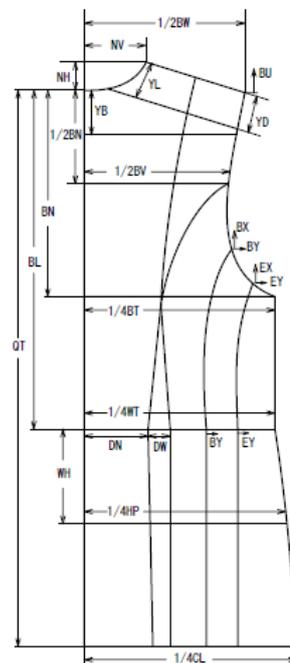
<メジャー部位コード>



グレーディングポイントに入力する
3桁の数字です。
計算式を設定しています。
1パーツ内に1回のみ使用可能です。

D0-4~41

<サイズ項目>

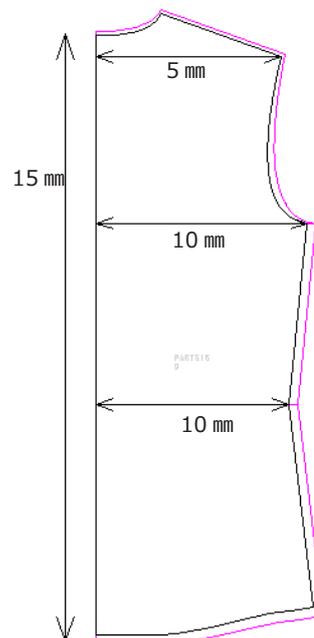
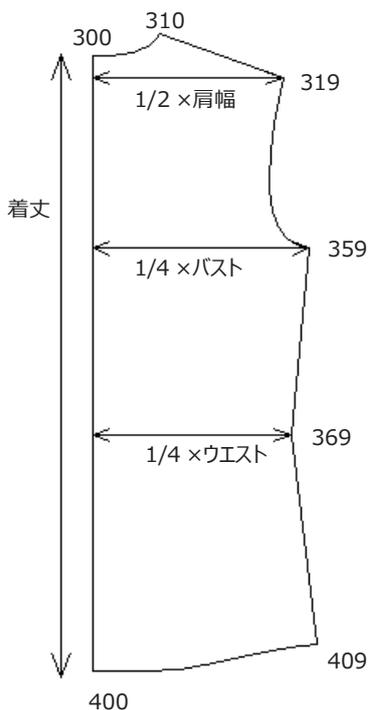


ピッチを反映する箇所です。



例) 以下のピッチでグレーディングしたときの移動量

	9号	11号
着丈	QT	15mm
バスト	BT	40mm
肩幅	BW	10mm
ウエスト	WT	40mm



<移動量表>

移動量表				[ルールコード: D0]
部位コード		計算式		保存
100	X	0		
	Y	FN		
*104	X	$-1/4*BW+1/2*NV-NJ$		○
	Y	109から平行		
判別	条件		YC(ヨーク幅 前袖ぐり) 有り	
	B47	X	$-1/4*BW+1/2*NV-NJ$	○
		Y	$1/2*[109(Y)+120(Y)]$	
	106	X	110,109と100,608,606との2点間	○
Y		110,109と100,608,606との2点間		

メジャー部位コードの計算式です。

<長さ合わせ管理>

長さ合わせ管理			[ルールコード: D0]
番号	項目	管理範囲部位コード	
FL01	前衿ぐり(身頃)	110,109,108,106,608,606,100	
FL02	前衿ぐり(肩ヨーク) 2	310,317	
FL03	前衿ぐり(肩ヨーク) 1	110,109	
FL04	後衿ぐり(身頃)	300,306,309,310,110	
FL05	後衿ぐり(肩ヨーク)	309,310	
FL06	前袖ぐり(上部)	127,126,125,124,123,122,120,119,318,319	
FL07	前袖ぐり(全体)	159,128,127,126,125,124,123,122,120,119,318,319	
FL08	前袖ぐり(下部)	159,128,127	
FL09	後袖ぐり(上部)	119,319,320,322,323,324,325,326,327	
FL10	後袖ぐり(全体)	119,319,320,322,323,324,325,326,327,328,359,159	
FL11	後袖ぐり(下部)	327,328,359,159	
FL12	肩ヨーク切替え(前)	120,104,109	
FL13	肩ヨーク切替え(後)	309,304,320	
FL14	肩線長さ(前)	119,115,114,111,110	
FL15	テラーカラー(衿ぐり)	110,109,608,606	
FL16	フードまわり	633,632,631,630	
FL17	後袖ぐり(2枚袖)	319,320,322,323,324,325,326	
FL21	台衿1	618,617,628	
FL24	テラーカラー(全ゴージ)	608,606,605,604	
FL25	テラーカラー(キザミ)	605,604	
FL26	台衿2	628,617,618	
FL27	前袖ぐり(肩ヨーク)	120,119	
FL28	フード切替え	646,645	
FL29	前袖山線	500,507,502,501,509,510,508,519	
FL30	後袖山線	519,510,517,511,512,515,514,500,509,518	

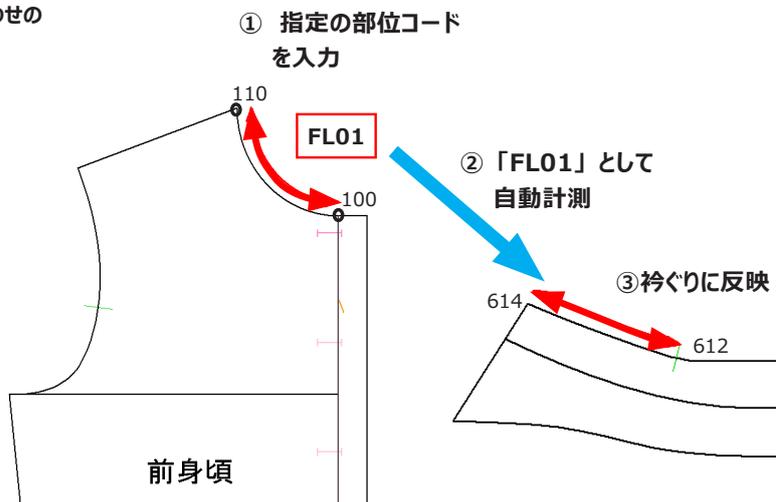
メジャー部位コードの計算式の中には自動計測した結果の長さを合わせるコードがあります。自動計測箇所の部位コードを表示しています。



例) 前身頃衿ぐりと衿のグレーディング

<長さ合わせ管理>

衿の部位コードには長さ合わせの計算式を設定しています。



グレーディングの流れ

情報を設定する

展開サイズやピッチなど、グレーディングに必要な情報を設定します。

準備：サイズピッチ

サイズ表を手元に準備しましょう
課題ではサイズ表を準備しています

GR 情報パネル

GR 情報

展開サイズ

特別ルール

特別ピッチ

部位コードを入力する

グレーディングポイントに部位コードを入力します。

準備：ルールマニュアル

印刷して手元にあると便利です

ルール付けパネル

メジャー部位コード

マイナー部位コード

補助機能

GR パーツ情報一覧

グレーディングする

サイズ展開します。

ルール付けパネル

グレーディング処理

縫い代処理

エラーが表示されたら、どの箇所を修正するかよく確認します。

エラー

エラーがなくても、重ね書きの状態によっては、ピッチや形状の調整が必要になります。

調整

チェックする

グレーディングの結果を確認します。

ルール付けパネル

サイズ間計測

シフトバリュー

表示切替

合わせ

重ねチェック

結果表

完成！

GR II 基礎トレーニング

課題 1

ここからトレーニングに入ります。
指定のデータを読み込み、ルールマニュアルを準備しましょう。
このトレーニングでは「たて置き」「D0 上物全般」を使用します。

グレーディング _ 課題 1

1. 設定条件でグレーディングします

データ : ACS-WEB1

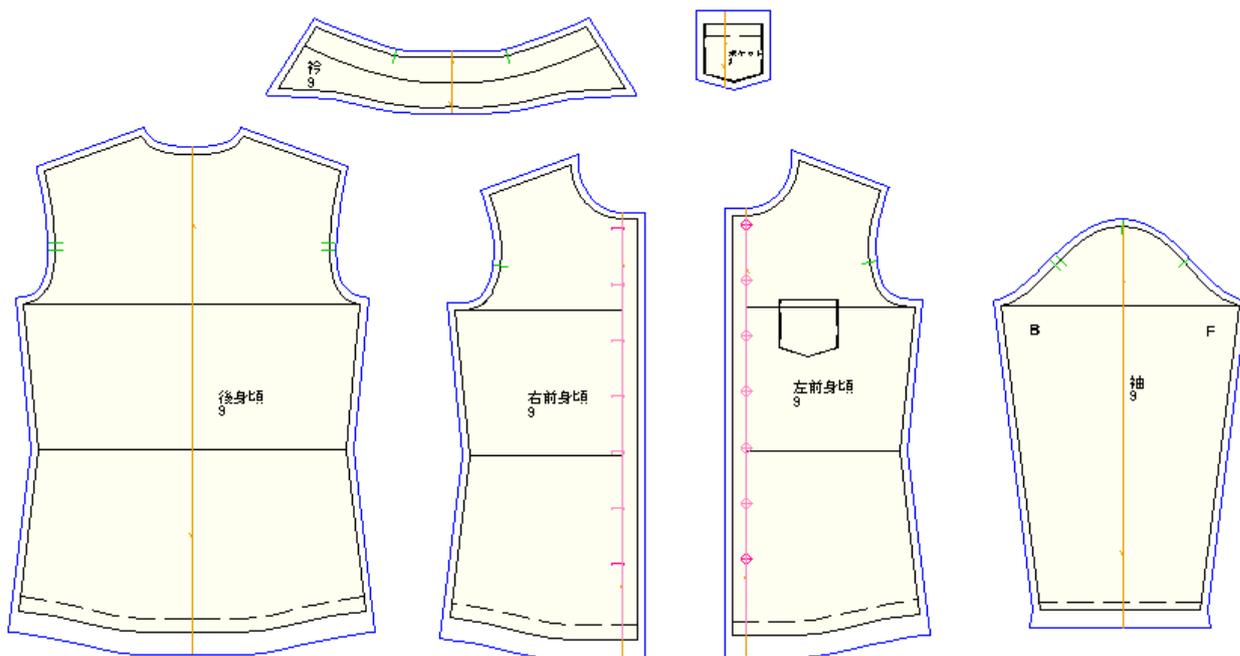
マスターサイズ : 9号 (グレーディングする元パターンのサイズです)

サイズ展開 : 7号、11号、13号

指定のピッチでグレーディングし完成させましょう。

・マスターパターン確認 (グレーディングする元パターンです)

データ : ACS-WEB1



・サイズ表

(単位: cm)		7号	9号	11号	13号
バスト	BT	89	92	95	98
ウエスト	WT	81	84	87	90
着丈	QT	64	66	67	68
肩幅	BW	39.5	40.3	41.1	41.9
袖丈	KL	50.9	52.9	53.9	54.9
袖口	KM	21	22	23	24
衿ぐりまわり	NC	37.8	38.8	39.8	40.8
ポケット口	PB	8	8	8	8
ポケット深さ	PA	8	8	8	8
ポケット位置 (中心から)	PQ	4.3	4.5	4.7	4.9
ポケット位置 (NP から)	PS	18.6	19.1	19.6	21.1
ボタン間隔		46.2	46.2	46.2	46.2

・ピッチ表を作成します

・課題のサイズ表からピッチ表を作成します。

記入例) サイズ間の差寸をmm単位で記入します。

cm		7号	9号	11号	13号
バスト	BT	89.0	92.0	95.0	98.0
	単位 mm	30	30	30	

・ピッチを記入してピッチ表を作成しましょう

cm		7号	9号	11号	13号
バスト	BT	89.0	92.0	95.0	98.0
	単位 mm				
ウエスト	WT	81.0	84.0	87.0	90.0
	単位 mm				
着丈	QT	64.0	66.0	67.0	68.0
	単位 mm				
肩幅	BW	39.5	40.3	41.1	41.9
	単位 mm				
袖丈	KL	50.9	52.9	53.9	54.9
	単位 mm				
袖口	KM	21.0	22.0	23.0	24.0
	単位 mm				
衿ぐりまわり	NC	37.8	38.8	39.8	40.8
	単位 mm				
ポケット口	PB	8.0	8.0	8.0	8.0
	単位 mm				
ポケット深さ	PA	8.0	8.0	8.0	8.0
	単位 mm				
ポケット位置 (中心から)	PQ	4.3	4.5	4.7	4.9
	単位 mm				
ポケット位置 (NP から)	PS	18.6	19.1	19.6	20.1
	単位 mm				
ボタン間隔		46.2	46.2	46.2	46.2
	単位 mm				

GR 情報の設定

参照動画 : GT-01_GR 情報

1. GR 情報を設定します

*まず最初に、グレーディングするために必要な情報の設定をします。

パターンの向き、ルールマニュアルの種類、展開するサイズ、ピッチを入れる項目と数値の入力をします。



① 「グレーディング」 → 「ルール付け」 をクリックします。

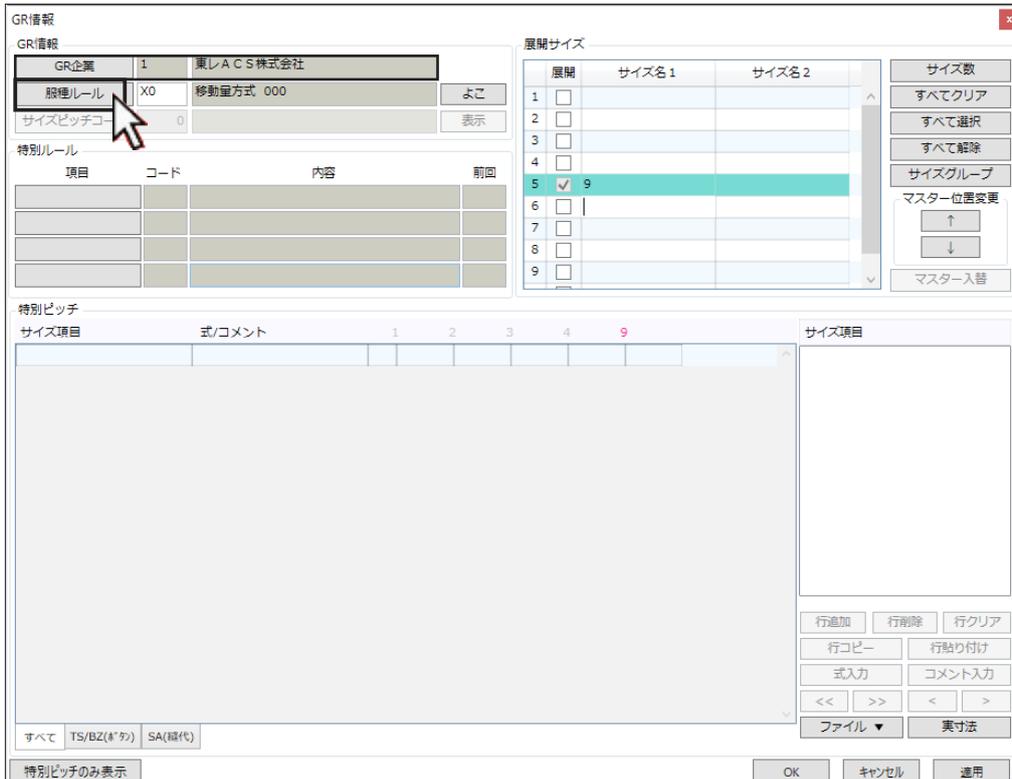
ショートカットキー
Shift + G

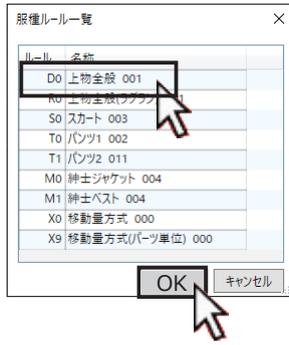
② 「GR 情報」 をクリックします。



・ GR 情報の設定

③ 「GR 企業」 東レ ACS 株式会社を確認し
「服種ルール」 をクリックします。





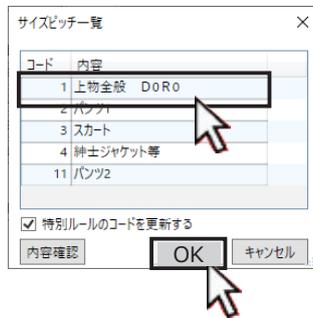
④ 「D0 上物全般 001」をクリックし「OK」を押します。
(または、ダブルクリックします。)



⑤ 「よこ」をクリックして「たて」にします。



⑥ 「サイズピッチコード」をクリックします。

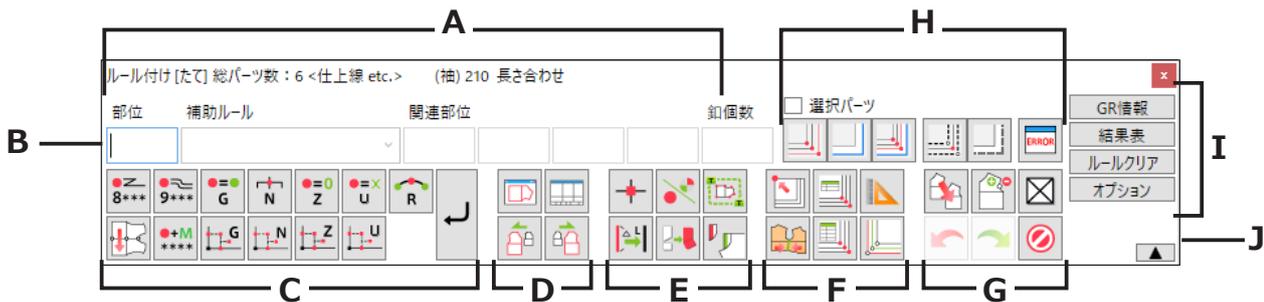


⑦ 「1 上物全般 D0 R0」をクリックし「OK」を押します。
(または、ダブルクリックします。)

メモ

「服種ルール」と「サイズピッチコード」の内容を合わせます。
内容が違くと、正常なグレーディング結果にはなりません。

(補足) ルール付けパネル



A	情報表示	キャンバス内のパーツ数や、選択したパーツの情報、ポイントの属性などが表示されています。
B	入力欄	部位コードを入力します。
C	入力補助機能	部位コード入力を補助する機能です。
D	フリップ / 表示	フリップ条件設定や、パーツ表示設定です。
E	補助機能	ルール付けを補完するための機能です。
F	チェック機能	グレーディング結果をチェックする機能です。
G	ダミー点追加など	グレーディングポイントやダミー点を作成する機能と移動機能です。
H	グレーディング / 削除	グレーディング、縫い代付け処理や削除、エラーログなどです。
I	情報付けなど	グレーディング情報付けや結果確認表などです。
J	パネル縮小	ルール付けパネルを縦に縮小するボタンです。

・展開サイズの設定 (グレーディング展開するサイズの設定をします。)

⑧ マスターサイズ欄の上の行をクリックし「7」を下の行をクリックし「11」「13」を入力します。

⑨ 「7」「11」「13」の展開にチェックを入れます。

メモ
展開にチェックが入っていないければグレーディング処理されません。

・特別ピッチの設定 (サイズ項目 (大きくする箇所) と、ピッチ (数値) を指定してきます。)

「サイズ項目」の入力方法は3つあります

- ・タブを選択し図中記号から選択する方法
- ・サイズ項目表から選択する方法
- ・直接入力する方法

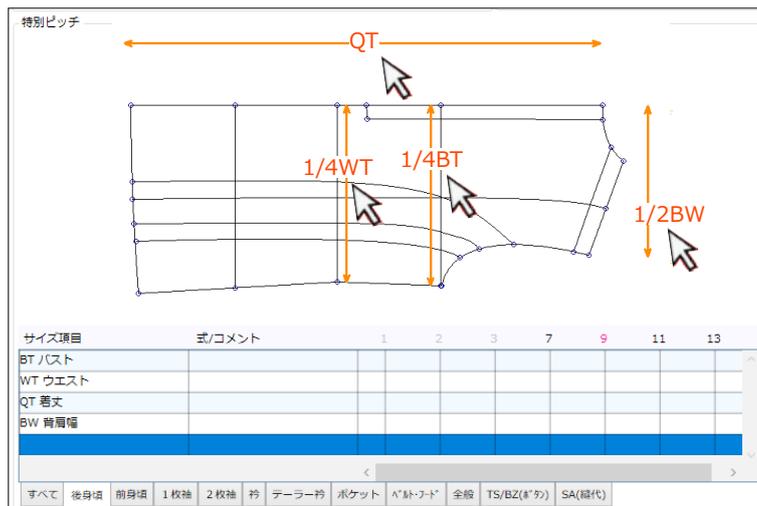
<タブを選択し図中記号から選択します>

⑩ 「後身頃」のタブをクリックします。

cm		7号	9号	11号	13号
バスト	BT	89.0	92.0	95.0	98.0
	単位 mm		30	30	30
ウエスト	WT	81.0	84.0	87.0	90.0
	単位 mm		30	30	30
着丈	QT	64.0	66.0	67.0	68.0
	単位 mm		20	10	10
肩幅	BW	39.5	40.3	41.1	41.9
	単位 mm		8	8	8
袖丈	KL	50.9	52.9	53.9	54.9
	単位 mm		20	10	10
袖口	KM	21.0	22.0	23.0	24.0
	単位 mm		10	10	10
衿ぐりまわり	NC	37.8	38.8	39.8	40.8
	単位 mm		10	10	10
ポケット口	PB	8.0	8.0	8.0	8.0
	単位 mm		0	0	0
ポケット深さ	PA	8.0	8.0	8.0	8.0
	単位 mm		0	0	0
ポケット位置(中心から)	PQ	4.3	4.5	4.7	4.9
	単位 mm		2	2	2
ポケット位置(NPから)	PS	18.6	19.1	19.6	20.1
	単位 mm		5	5	5
ボタン間隔		46.2	46.2	46.2	46.2
	単位 mm		0	0	0

作成したピッチ表を見ながらサイズ項目を設定しましょう。

- ⑪ 図の中の必要な項目をクリックで選択します。
1/4BT、1/4WT、QT、1/2BW
(選択した項目はオレンジ色に変わります。)

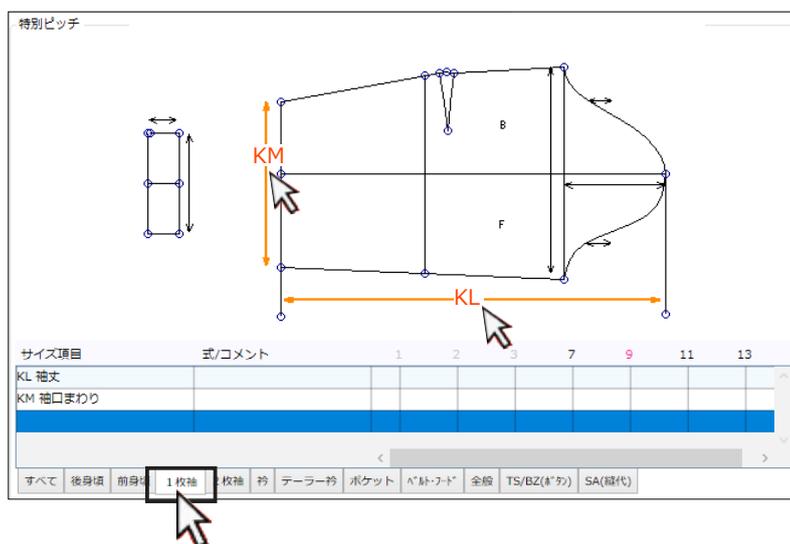


メモ

** サイズピッチの図が表示されない場合 **
GRSizePitchImageBackup.mdb のリストア
が必要です。詳しくは東レ ACS ホームページ内にある
「GR マスター新規リストア」 動画をご参照ください。



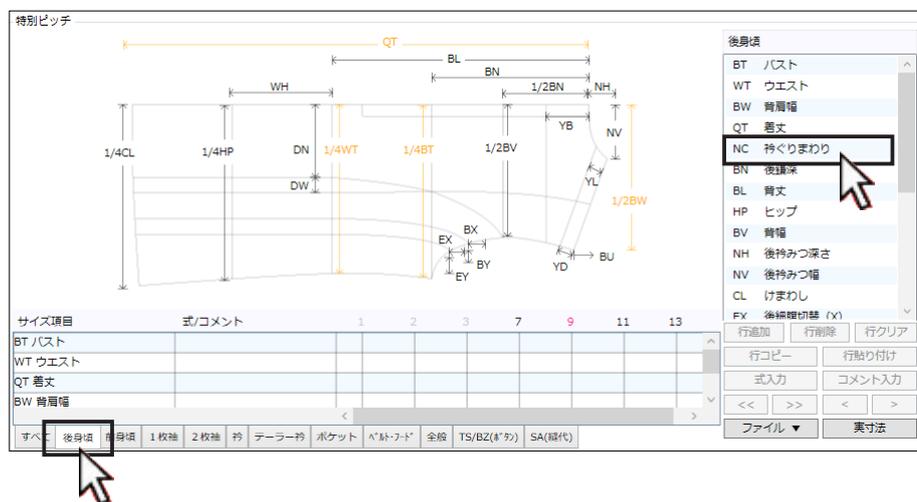
⇐ サイズ項目に登録されていきます。

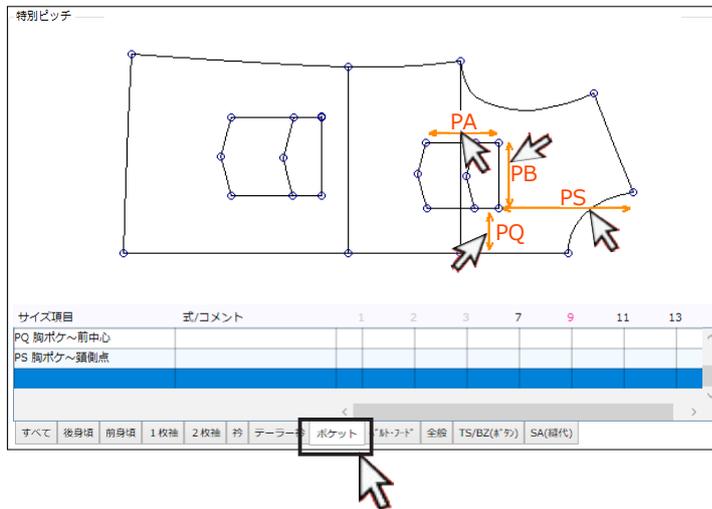


- ⑫ 同様に「1枚袖」のタブをクリックし
KL、KM をクリックで選択します。

<サイズ項目表から選択します>

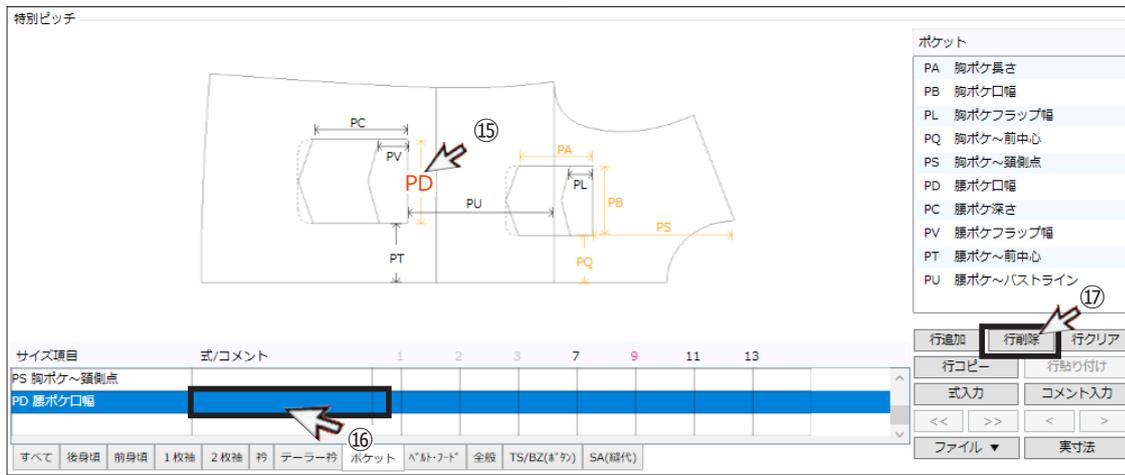
- ⑬ 衿ぐりまわりを 項目表から選択します。
「後身頃」のタブを選択し、項目表の「衿ぐりまわり」
をダブルクリックで選択します。



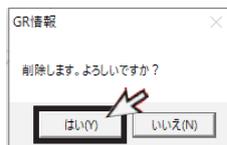


- ⑭ ポケットのピッチを設定します。
「ポケット」のタブをクリックし、
PB、PA、PQ、PSを選択します。

- ⑮ PDをクリックします。
誤って入力した項目の削除方法を説明します。



- ⑯ 「PD 腰ポケ口幅」の「式 / コメント」の
セルをクリックします。(選択行が青くなります。)
⑰ 「行削除」をクリックします。



- ⑱ 「はい」をクリックし、削除します。

(注意)

サイズ項目を間違えて選択したり、不要な項目は削除しましょう。
項目だけ残した状態は、ピッチ「0」で設定したことになります。

(ピッチの決まり事)

- ・「BT バスト」のように先頭にピッチがあればサイズ間に数値を設定しなくても左側の数値を引き継ぎます。
- ・「QT 着丈」のようにピッチがサイズによって変わる場合は、各サイズ間のセルに入力します。

サイズ項目	式/コメ	1	2	3	7	9	11	13	
BT バスト			30.00	全サイズピッチ 30					
WT ウエスト			30.00						
QT 着丈					20.00	10.00	10.00		
BW 背肩幅			8.00						
KL 袖丈					20.00	10.00	10.00		
KM 袖口まわり			10.00						
NC 袖ぐりまわり			10.00						
PB 胸ポケ口幅			0.00						
PA 胸ポケ長さ			0.00						
PQ 胸ポケ～前中心			2.00						
PS 胸ポケ～頸側点			5.00						

特別ピッチ	サイズ項目	式/コメ	1	2	3	7	9	11	13
BT バスト				30					
WT ウエスト									
QT 着丈									
BW 背肩幅									
KL 袖丈									
KM 袖口まわり									
NC 袖ぐりまわり									
PB 胸ポケ口幅									
PA 胸ポケ長さ									
PQ 胸ポケ～前中心									
PS 胸ポケ～頸側点									

①⑨

すべて 後身頃 前身頃 1枚袖 2枚袖 衿 テーラー衿 ポケット A*袖・フード 全般 TS/BZ(*'の) SA(縮代)

①⑨ サイズ項目の選択が終了後「すべて」のタブをクリックします。

②⑩ 入力する枠をクリックしピッチを入力します。(ピッチは mm 単位です。)

GR情報	GR企業	1	東レACS株式会社
股種ルール	D0	上物全般 001	たて
サイズピッチコード	1	上物全般 DORO	表示

特別ルール	項目	コード	内容	前回
脇線			△=基点から横平行移動	
袖山線			△=袖ぐり4分割の長さ合わせ	
袖口(2枚袖)			△=袖幅と同量移動	
袖口(1枚袖)			△=袖口幅指定(前後等分)	

展開サイズ	展開	サイズ名1	サイズ名2
1	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>		
4	<input checked="" type="checkbox"/>	7	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	9	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	11	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	13	
8	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>		

特別ピッチ	サイズ項目	式/コメント	1	2	3	7	9	11	13
BT バスト			30.00						
WT ウエスト			30.00						
QT 着丈						20.00	10.00	10.00	
BW 背肩幅			8.00						
KL 袖丈						20.00	10.00	10.00	
KM 袖口まわり			10.00						
NC 袖ぐりまわり			10.00						
PB 胸ポケ口幅			0.00						
PA 胸ポケ長さ			0.00						
PQ 胸ポケ～前中心			2.00						
PS 胸ポケ～頸側点			5.00						

すべて 後身頃 前身頃 1枚袖 2枚袖 衿 テーラー衿 ポケット A*袖・フード 全般 TS/BZ(*'の) SA(縮代)

特別ピッチのみ表示

OK キャンセル 適用

②⑪ ピッチ入力後、「OK」をクリックし「GR 情報設定」を閉じます。

補足説明

・特別ルール

D0-1

ここで「脇線」、「袖山」、「袖口」の移動内容の選択ができます。
今回、「特別ルール」は初期値を使用します。

- ・脇線は、平行に展開します。
- ・袖山は、袖ぐりを4つに分けて袖山と長さ合わせします。
- ・袖口は、「袖口まわり」ピッチを指定します。

・ルール付けパネル

A	情報表示	キャンパス内のパーツ数や、選択したパーツの情報、ポイントの属性などが表示されています。
B	入力欄	部位コードを入力します。
C	入力補助機能	部位コード入力を補助する機能です。
D	フリップ / 表示	フリップ条件設定や、パーツ表示設定です。
E	補助機能	ルール付けを補完するための機能です。
F	チェック機能	グレーディング結果をチェックする機能です。
G	ダミー点追加など	グレーディングポイントやダミー点を作成する機能と移動機能です。
H	グレーディング / 削除	グレーディング、縫い代付け処理や削除、エラーログなどです。
I	情報付けなど	グレーディング情報付けや結果確認表などです。
J	パネル縮小	ルール付けパネルを縦に縮小するボタンです。

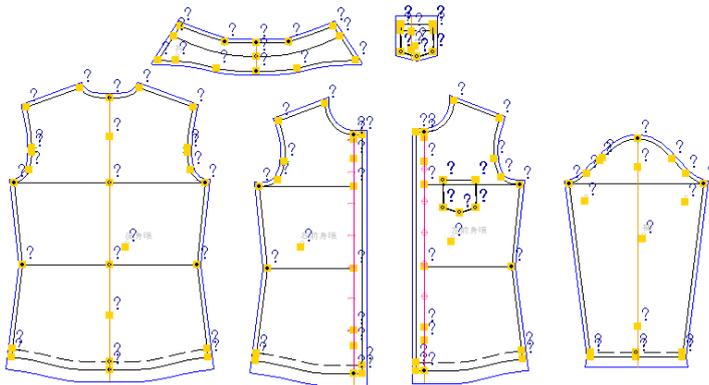
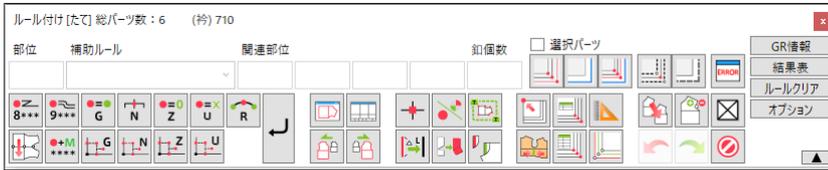
次の動画へ

部位コードの設定 1

参照動画：GT-02_コード入力_1

1. メジャー部位コード設定します

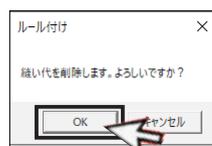
* ルールマニュアルを見ながらグレーディングポイントにメジャー部位コードを入力します。



- ① 図形を選択します。
パーツに「黄色いポイント」と「？」が表示します。
これらのポイントをグレーディングポイント (GP) といいます。
「地の目」と「品番」を除いたすべてに「部位コード」を設定します。

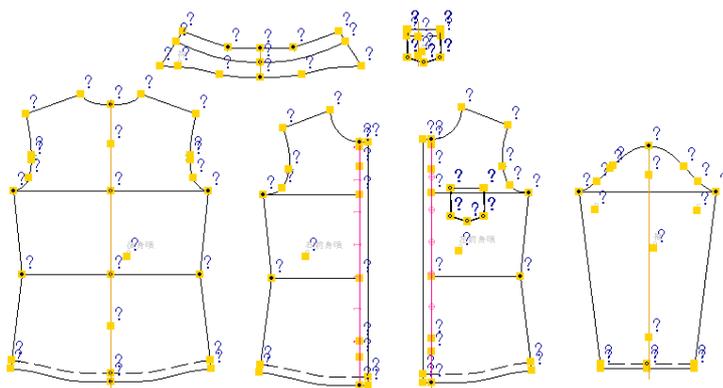


- ② 縫い代に部位コード設定は必要ないので縫い代表示を消します。
- ③ 「縫い代削除」をクリックします。



- ④ 「OK」をクリックします。

縫い代表示が削除されました



縫い代の表示は消えますが縫い代の情報は残ります。

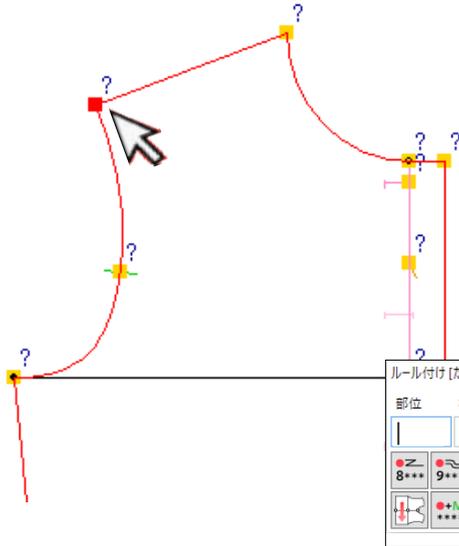
(メジャー部位コードとは)

- ・ルールマニュアルに記載している3桁の数字です。
- ・この3桁のコードには計算式が組み込まれており、どのように動くか決められています。

<右前身頃>



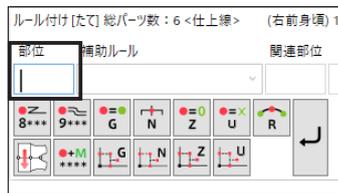
*ルールマニュアルの、「前身頃」のページを参照しながら入力します。



- ① 右前身頃をクリックします。
- ② はじめに仕上線から入力します。
肩先ポイントをクリックします。



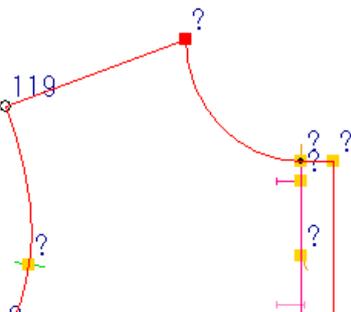
パネル上部には、選択中ポイントの属性が表示されます。



- ③ パネル内の「部位」でカーソルが点滅します。



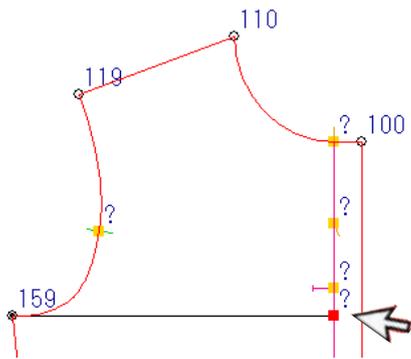
- ④ 部位コード「119」と入力し、Enter キーを押します。
(または、パネル内の Enter をクリックします。)



- ⑤ 選択中のポイントが次に移動します。続けて入力しましょう。
(アームホールのノッチは入力しません。後ほど説明します。)

メモ

外周線の場合自動的に右回りで次のグレーディングポイントに移動します。
(内部線のグレーディングポイントは、とばします。)

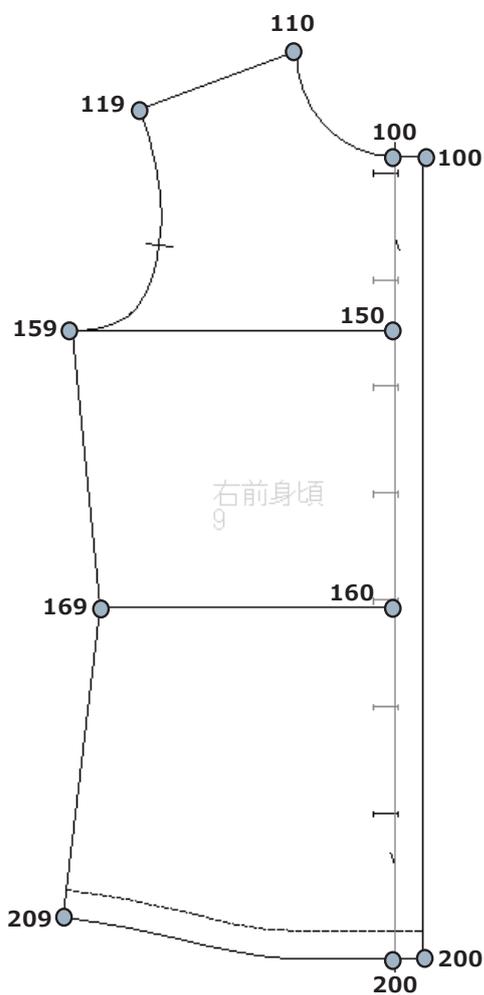


- ⑥ 仕上線の入力が終了したら、次は内部線の入力です。
グレーディングポイントをクリックし入力しましょう。

メモ

内部線の GP の移動は規則性がありません。
入力する GP をクリックし指示しましょう。

- ⑦ 入力部位コードの確認をしましょう。
(これ以外の部位コード設定は後ほど説明します。)



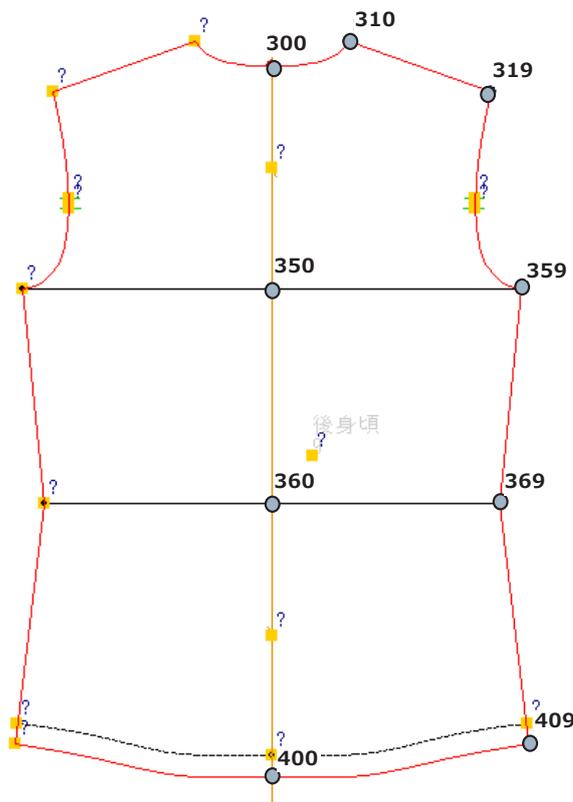
メモ

部位コード入力は、どのパーツからでも問題ありませんが、
身頃から入力するとグレーディングの全体像がつかみやすくなります。
また、パーツの外周線から入力しましょう。

<後身頃>



* ルールマニュアルの、「後身頃」のページを参照しながら入力します。



① 後身頃は、半身に部位コードを入力します。
(これ以外の部位コード設定は後ほど説明します。)

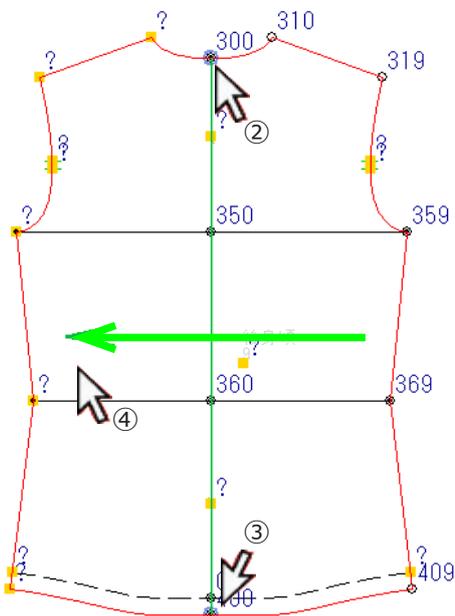
② 未入力側の半身は、後中心で対称移動するよう
設定します。これを対称プランニングといいます。
次で設定しましょう。

2. 対称プランニングの設定をします

* わさパーツなど対称になっているポイントに対称移動するコードを入力します。

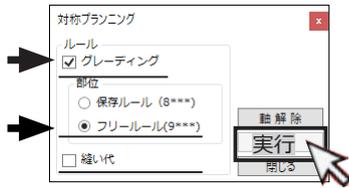


① 対称プランニングをクリックします。



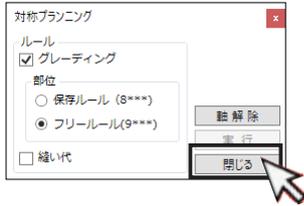
② 対称軸の1点目をクリックします。
③ 対称軸の2点目をクリックします。
(②と③は順番が変わってもOKです。)

④ 入力側をクリックします。(矢印が表示します)



⑤ パネルの確認をします。
「グレーディング」と「フリールール」にチェックします。
(縫い代のチェックは入れません。)

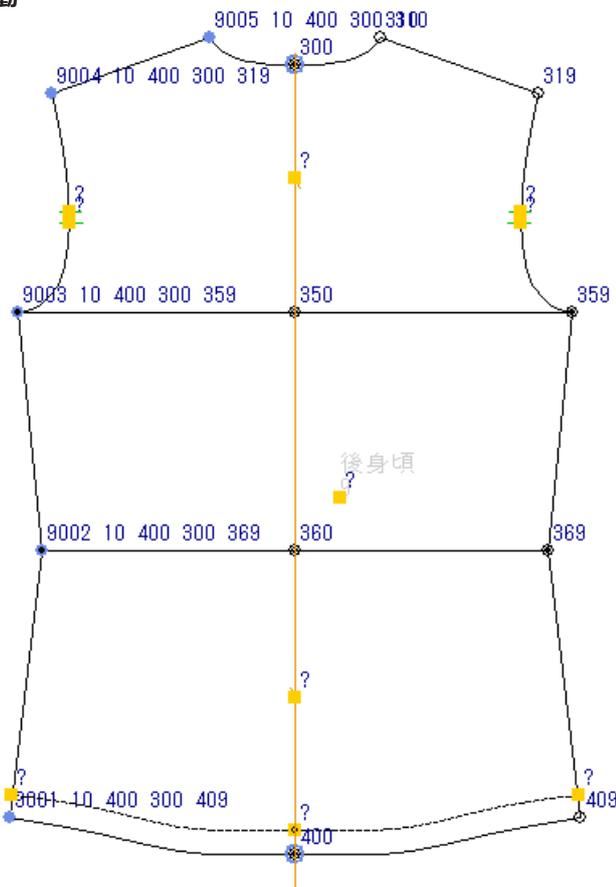
⑥ 「実行」をクリックします。
(または、Enter キーを押します。)
左身頃側に対称コードが設定されます。



⑦ 「閉じる」または「×」をクリックしパネルを閉じます。

メモ
対称プランニングのパネルは
設定後必ず閉じましょう。

後中心線を軸として、左右対称に移動
するコードが設定できました。



(注意点)

- ・ 対称の位置にないグレーディングポイントには反映されません。
- ・ マスターパターンで縫い代設定が完了している場合「縫い代」のチェックは入れません。
- ・ 設定した対称軸を解除する場合、パーツをクリックし「軸解除」をクリックします。
- ・ 元の部位コードを変更したら、再度対称プランニングを実行し対称コードを更新しましょう。
(2回目からは対称軸の設定は必要ありません。)



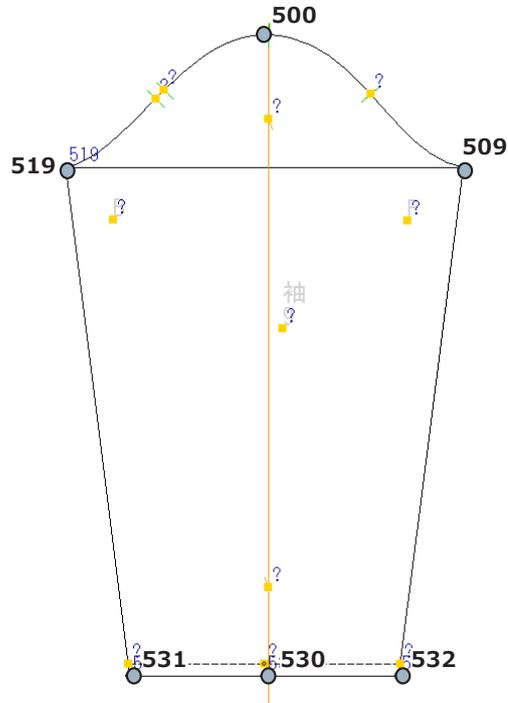
参照動画 : GT-02_コード入力_2

* ルールマニュアルを見ながら残りのパーツにメジャー部位コードを入力しましょう。

<袖>



* ルールマニュアルの、「袖」のページを参照しながら入力します。
(これ以外の部位コード設定は後ほど説明します。)



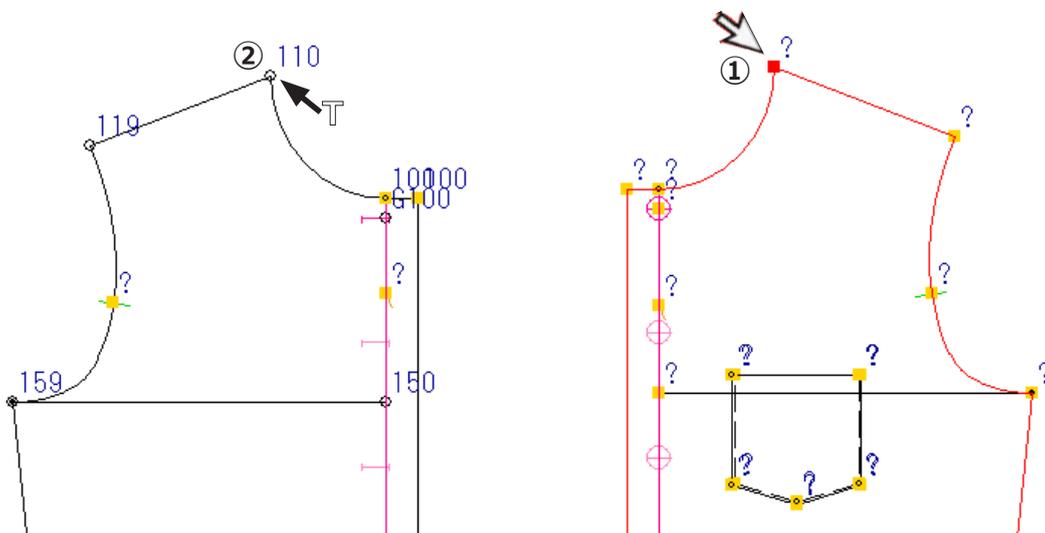
3. ポイントティーチで設定します

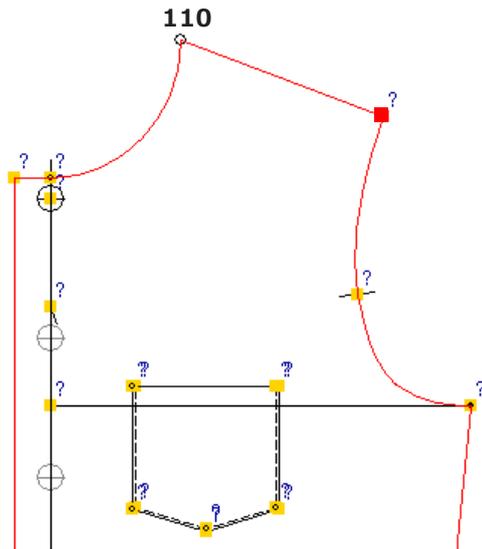
* 左前身頃はポイントティーチを使ってみましょう。設定済みの右前身頃の部位コードをコピーし入力します。

<左前身頃>

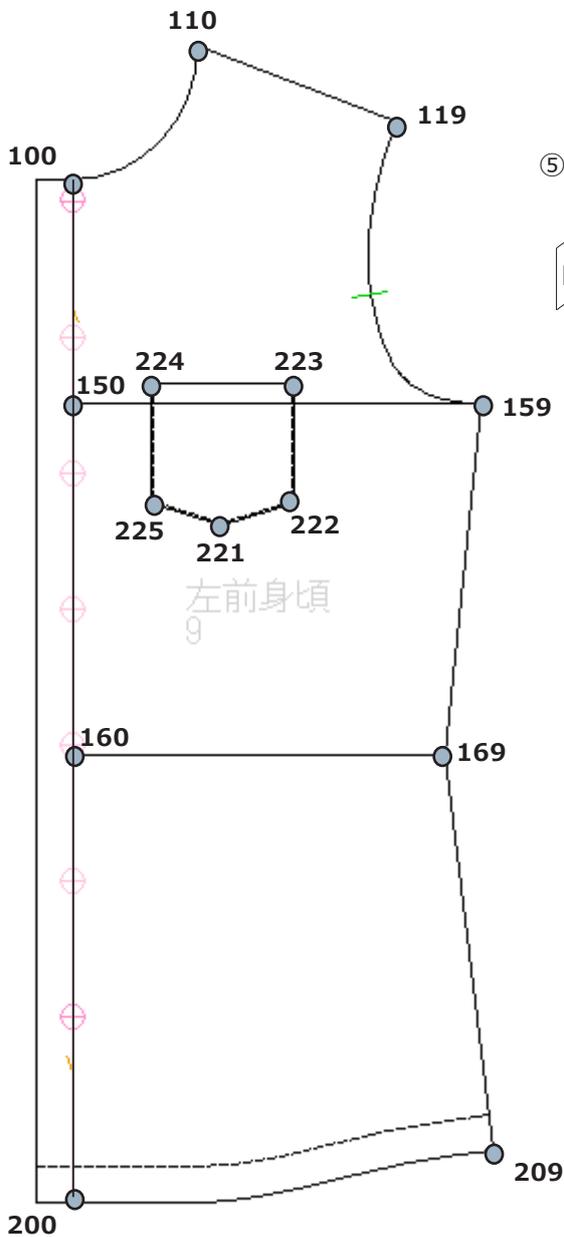


- ① 入力するポイントをクリックします。
- ② 「Ctrl」キーを押しながら、右前身頃と同じグレーディングポイントをクリックします。
(この時カーソルには「T」の文字が付きます。)





- ③ 部位コードがコピー入力されます。
(これをポイントティーチといいます。)
- ④ 選択ポイントが次のポイントに移ります。
同様にすべてのポイントに入力します。



- ⑤ ポケットの部位コードを入力します。
(実線に入力し、ステッチ線には入力しません。)



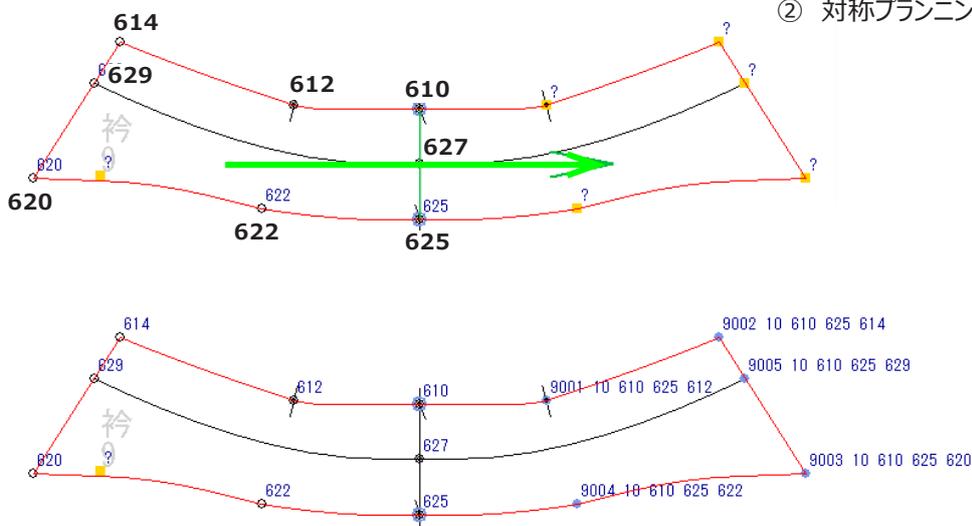
*ルールマニュアルの、「ポケット」のページを参照しながら入力します。

(これ以外の部位コード設定は後ほど説明します。)

<衿>

D0-34 *ルールマニュアルの、「衿」のページを参照しながら入力します。

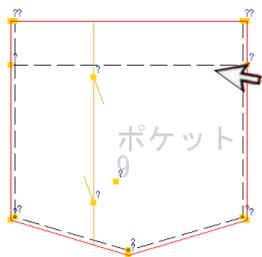
- ① 衿（半身）の部位コードを入力します。
- ② 対称プランニングします。



4. 「Z ノーグレード」コードを設定します

* ポケットは全サイズ大きさを変えません。ノーグレードの設定をしましょう。
全サイズ共通（サイズによって大きさを変えない）パーツに使用します。移動量はありません。

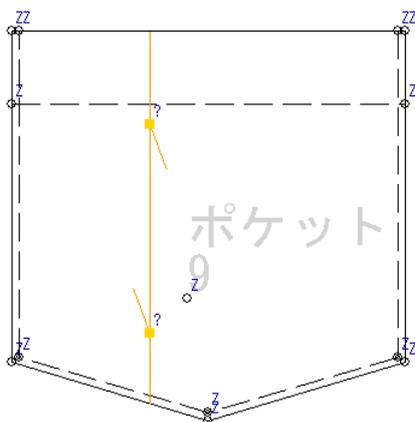
<ポケット>



- ① ポケットをクリックし選択します。



- ② 「残りのポイントをすべて Z」をクリックします。



- ③ 全てのポイントに「Z」が設定されます。
(この「Z」はノーグレードと呼び、移動量は0です。)

メモ

大きさの変わらないパーツも、マーキングや DXF 変換のために各サイズにパーツが必要となります。

次の動画へ

グレーディング処理とエラー解決 1

参照動画：GT-02_コード入力_3

メジャー部位コードの入力は終了しました。未入力の部位コードもありますがここでグレーディング処理をします。どのようなときにエラーになり、どう解決するのかを解説していきます。

部位コードを修正した後は、必ずグレーディング処理し、エラーがなくなっていくことを確認しましょう。

1. グレーディング処理をします



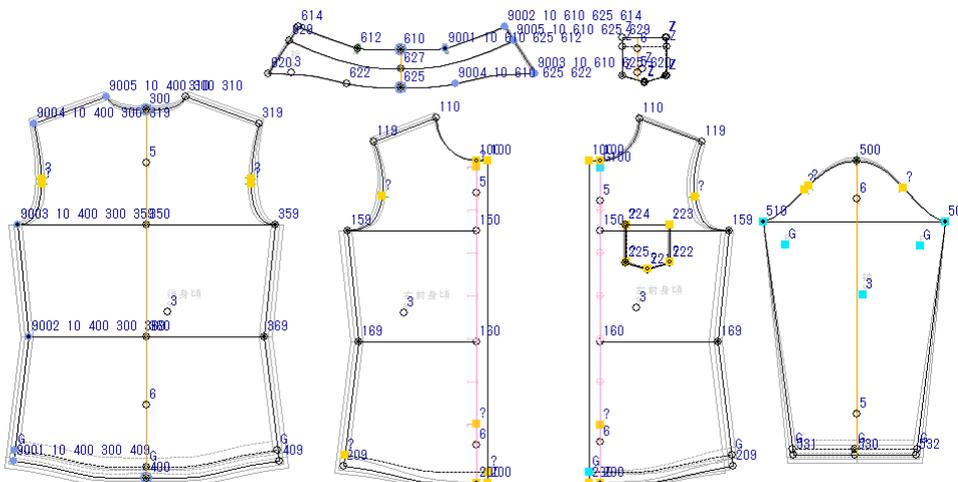
① 「グレーディング処理」をクリックします。



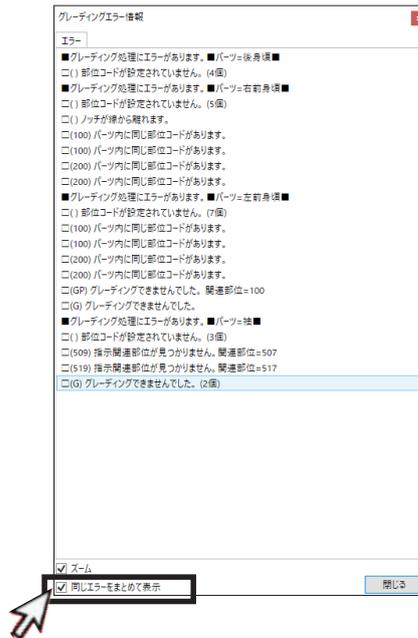
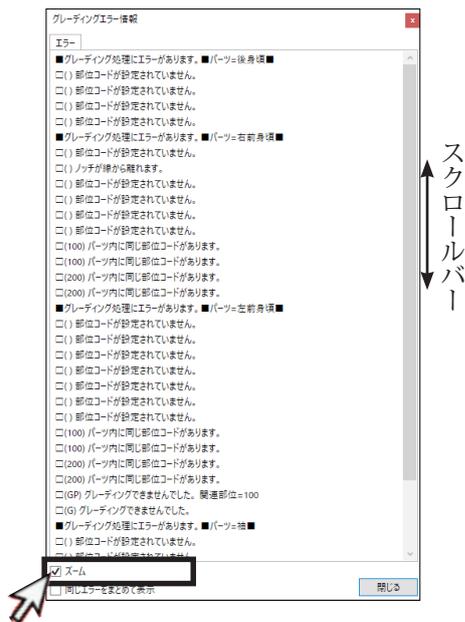
② エラーが表示されました。
(ここからエラー原因を確認し、解決していきます。)

メモ

グレーディング処理で 水色と黄色 になるポイントはエラーです。



2. エラーメッセージを確認します



- ・「ズーム」にチェックを入れます
「ズーム」にチェックを入れ、メッセージ上でダブルクリックするとエラー箇所が大きく表示しそのポイントが赤く表示します。

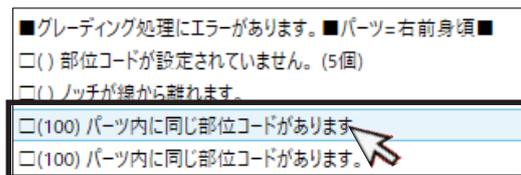
- ・「同じエラーをまとめて表示」にチェックを入れます
「同じエラーをまとめて表示」にチェックを入れると
同じエラーがまとめてエラー表示が少なくなります。

メモ

- の表記は パーツ名です
- の表示は グレーディングポイントです

3. エラー内容を確認します

「パーツ内に同じ部位コードがあります」
解決方法：重複している部位コードを変更します



- ① エラーメッセージの上でダブルクリックしエラー部位を確認します。

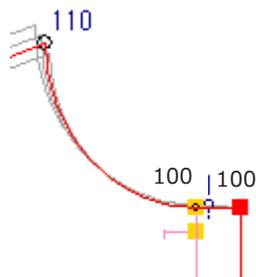
なぜ??



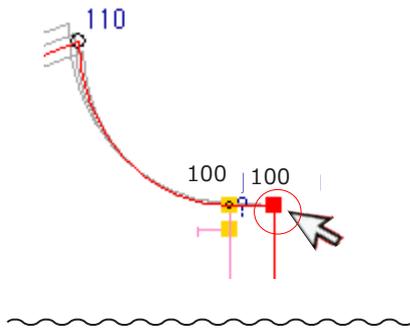
(メジャー部位コードの決まり事)

- ・ 同一パーツ内に 1 つしか使えません。

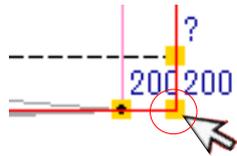
<右前身頃>



- ② 右前身頃の「100」が赤く表示します。
(パーツの中に「100」の部位コードが 2 つ以上あります。)



- ③ 重複している「100」を1つにします。
 前端の「100」をクリックし、「Delete」キーを押し
 Enter キーを押してクリアします。
 (元の未入力に戻ります。)



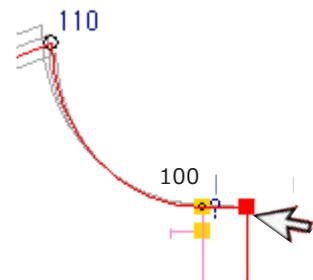
- ④ 前裾の部位コード「200」も1つクリアします。
- ⑤ 同様に左前身頃も確認します。
- ⑥ クリアできたら、「グレーディング処理」をクリックし
 エラー表示が減少することを確認しましょう。

4. 「Gセーム」コードを設定します

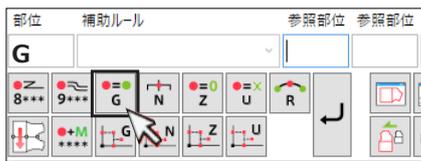
* 「Gセーム」とはパーツ内の他のグレーディングポイントと同じXY値で移動するコードです。

重複しているグレーディングポイントに入力します。

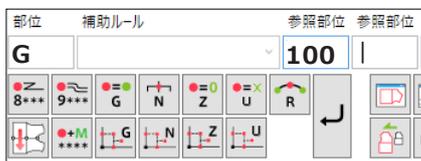
<右前身頃>



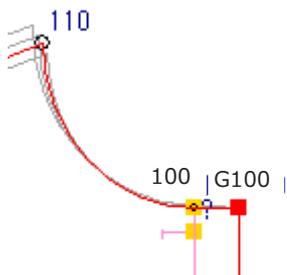
- ① 前端の部位コードをクリックします。



- ② キーボードから「G」を入力します。
 (入力するとき「Shift」キーは押しません。)
 または、パネルの「G」をクリックします。



- ③ 参照部位にカーソルが移動します。
 「100」と入力し、Enter キーを押します。
 カーソルが右の参照部位に移動するので、再度 Enter キー
 を押します。



- ④ 「G100」と設定しました。
 同様に 前裾にも「G200」を設定し、左前身頃にも
 設定します。
 このように G ではじまるポイントを「セームポイント」といいます。
 次のページで解説します。

5. 「G セイム」コード解説

「G セイム」コードとは

・パーツ内の他のグレーディングポイントと同じ X、Y の移動量を設定します。設定は 3 タイプあります。

「G」・・・・・・・・・・・・・・・・一番近くにある部位コードと同じ X・Y 移動量で動きます。

「G」「参照部位」・・・・・・・・指定した参照部位コードと同じ X・Y 移動量で動きます。

「G」「参照部位」「参照部位」・・・1 つ目の参照部位コードの X の移動量、2 つ目の参照部位コードの Y の移動量で動きます。

* 指定する参照部位コードは同一パーツ内にあることが条件です。

G * いちばん近くにある部位コードと同じ XY の移動量で移動します。
ステッチ線に「G」を設定します。

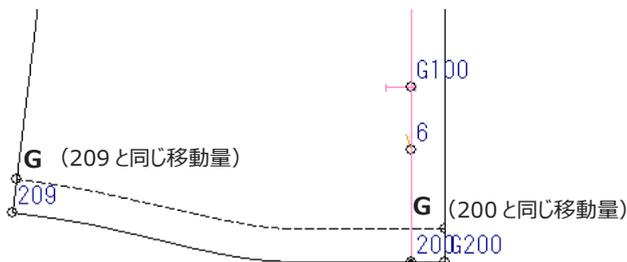


① 入力するポイントをクリックします。



② キーボードから「G」を入力します。
(入力するとき「Shift」キーは押しません。)
または、パネルの「G」をクリックします。

③ Enter キーを押します。



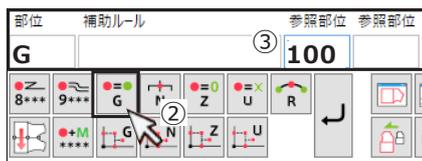
(残りのポイントをすべて G)

・パーツを選択し「残りのポイントをすべて G」をクリックすると残っている未入力のコードすべてに「G」が入力されます。

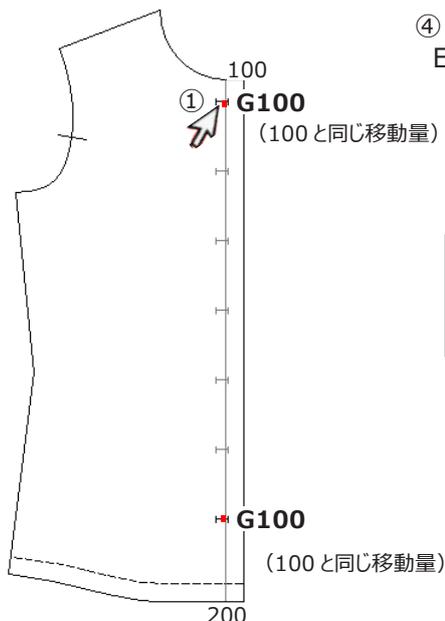


G+ 参照部位コード

* 指定した参照部位コードと同じ XY の移動量で移動します。
ボタンホールに「G100」と設定します。



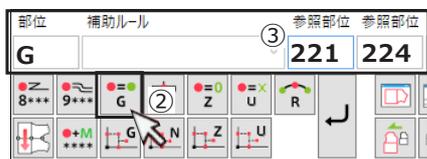
- ① 入力するポイントをクリックします。
- ② キーボードから「G」を入力します。
(入力するとき「Shift」キーは押しません。)
または、パネルの「G」をクリックします。
- ③ 参照部位に「100」を入力します。
(または、ポイント「100」をクリックします。)
- ④ カーソルが右の参照部位に移動するので、再度 Enter キーを押します。



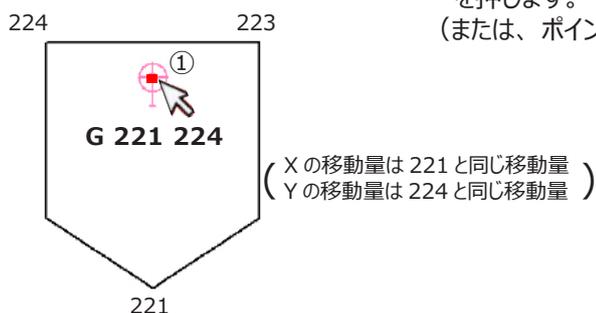
メモ
「G」が付いているコードは
パーツ内にいくつあっても OK です。

G+ 参照部位コード + 参照部位コード (X の移動量) (Y の移動量)

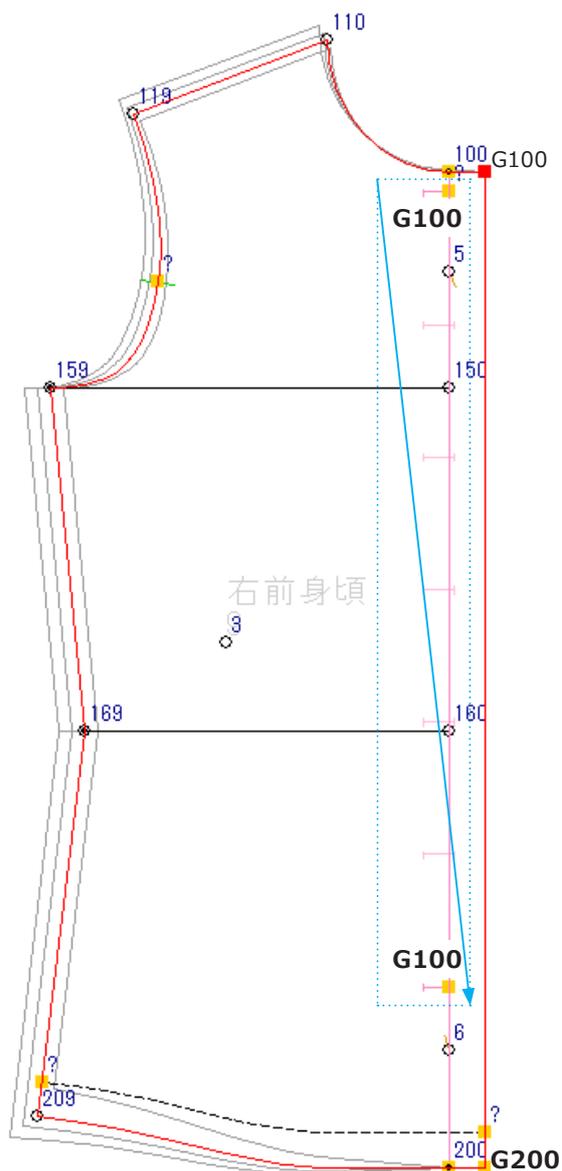
* 最初に指定した参照部位コードの X の移動量、次に
指定した参照部位コードの Y の移動量で 移動します。
ポケットボタンに「G 221 224」と設定します。



- ① 入力するポイントをクリックします。
- ② キーボードから「G」を入力します。
(入力するとき「Shift」キーは押しません。)
または、パネルの「G」をクリックします。
- ③ 各参照部位に「221」「224」と入力し、Enter キー
を押します。
(または、ポイント「221」「224」をクリックします。)



<右前身頃>



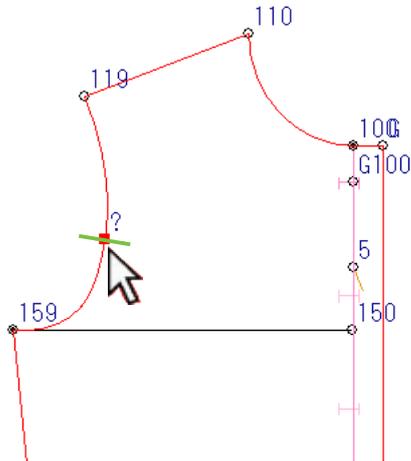
- ① ボタンホールに部位コードを入力をします。
ボタンホールの間隔は変更しません。
複数同時に入力するときにはドラッグ選択します。
この時設定されるのは未入力の部位コードだけです。
- ② ボタンホールをドラッグで選択し、「G100」を設定します。
- ③ 左前身頃も同様に入力しましょう。
- ④ 入力終了したら、「グレーディング処理」をクリックしエラー表示が減少する事を確認しましょう。



6. 「N ノッチ」コードを設定します

* ノッチに設定するコードです。ノッチコードを設定しましょう。

<右前身頃>

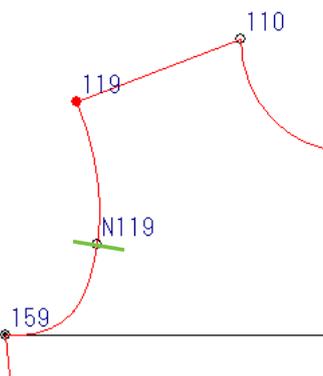


① ノッチをクリックします。



② キーボードから「N」を入力します。
(入力するとき「Shift」キーは押しません。)
または、パネルの「N」をクリックします。

③ 関連部位にカーソルが移動します。
「119」と入力し、(または「119」ポイントをクリックし)
Enter キーを押します。
カーソルが右の増分量に移動するので、再度 Enter キー
を押します。



④ 「N119」と設定しました。
(肩先 119 からノッチまでの距離を全サイズ一定で設定します。)
このように N から始まるグレーディングポイントを
「線上ノッチ」または、「マイナーノッチ」といいます。
次のページで解説します。

7. 「N ノッチ」コード解説

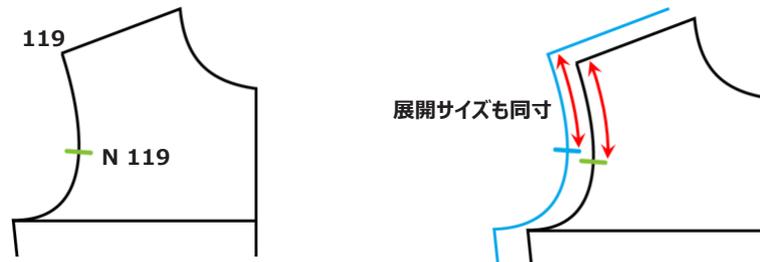
「N ノッチ」コードとは（線上ノッチ・マイナーノッチ）

- ・ノッチに使用するコードです。
- ・関連部位から一定の距離、またはピッチを指定し線上を移動します。これを線上ノッチまたは、マイナーノッチといいます。
- ・関連部位には、ノッチがある線上のカットされているグレーディングポイントの部位コードだけ指示できます。

N+ 部位コード

- * 指定した部位コードから同じ距離になるよう移動します。
- 全サイズ「119」から一定の距離にノッチを移動「N119」と設定します。

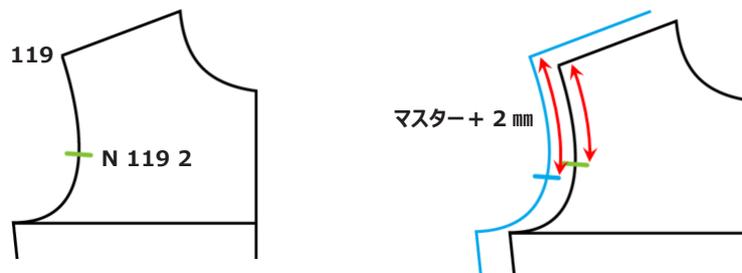
ルール付け [たて] 総パーツ数：6 <ノッチ> (右前身頃) 110 長さ含む			
部位	補助ルール	関連部位	増分量
N		119	



N+ 部位コード + ピッチ

- * 指定した部位コードから指定ピッチ距離分移動します。
- 各サイズ「119」から 2 mmピッチでノッチを移動「N 119 2」と設定します。

ルール付け [たて] 総パーツ数：6 <ノッチ> (右前身頃) 110 長さ含む			
部位	補助ルール	関連部位	増分量
N		119	2



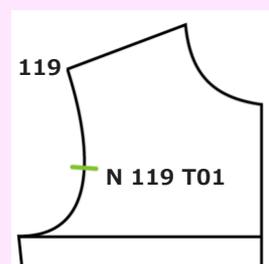
(サイズによってピッチを変えたい場合は)

- ・特別ピッチの「サイズ項目」に「T01 (T02,T03...)」と入力しピッチを指示します。

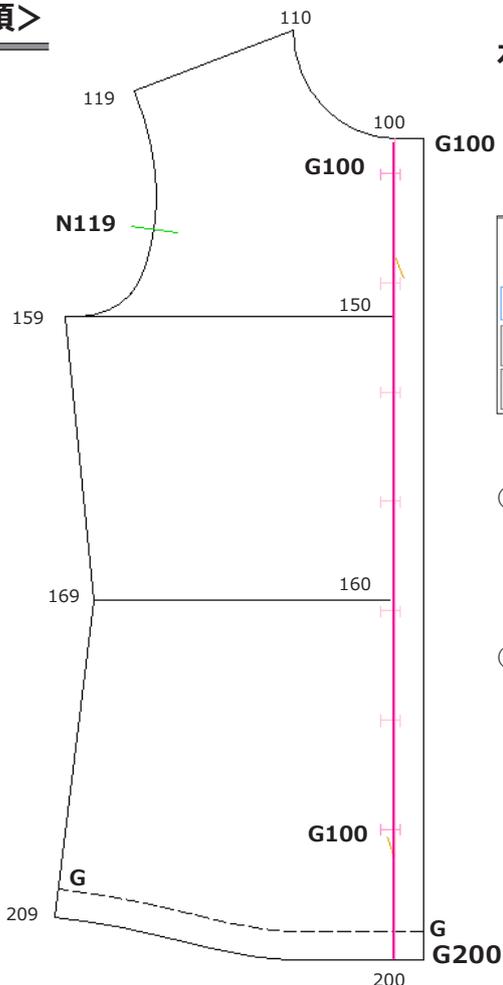
サイズ項目	式/コメ	1	2	3	7	9	11	13
BT /コスト			30.00					
T01						5.00	0.00	5.00

例) N 119 T01

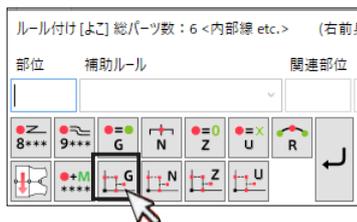
119 から各サイズ、ピッチ T01 分移動します



<右前身頃>

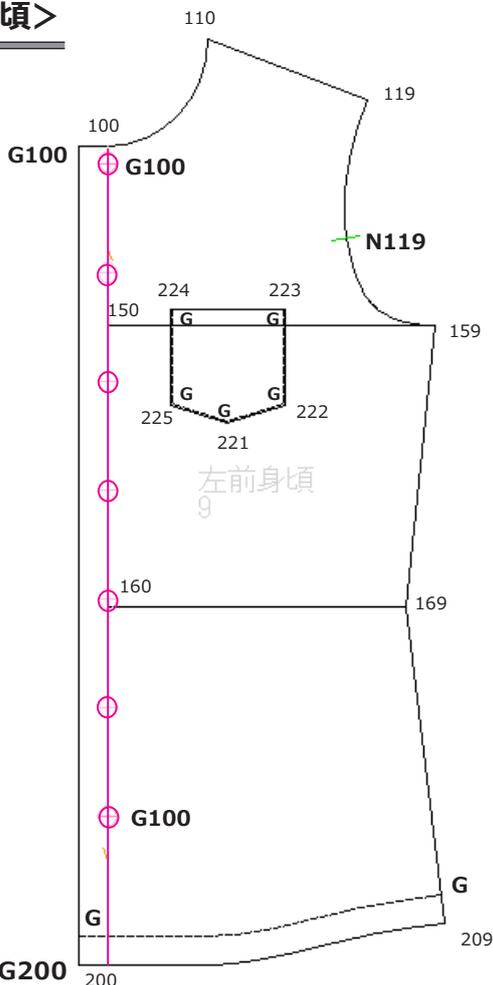


右前身頃を完成させます



- ① 裾のステッチは、「G」を設定します。
パーツをクリックしパネルの「残りのポイントをすべて G」をクリックします。
- ② 未入力の GP すべてに「G」が設定されます。

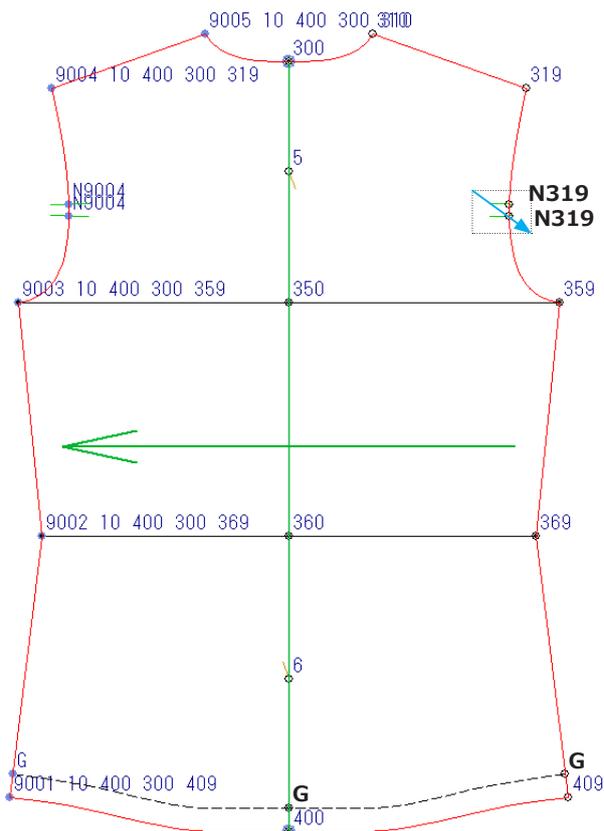
<左前身頃>



左前身頃を完成させます

- ① ノッチをクリックします。
- ② キーボードから「N」を入力します。
(入力するとき「Shift」キーは押しません。)
(または、パネルの「N」をクリックします。)
- ③ 関連部位にカーソルが移動します。
「119」と入力し、(または「119」ポイントをクリックし)
Enter キーを押します。
カーソルが右の増分量に移動するので、再度 Enter キーを押します。
- ④ 「N119」と設定しました。
- ⑤ 裾のステッチとポケットステッチは「G」を設定します。
パーツをクリックしパネルの「残りのポイントをすべて G」をクリックします。
- ⑥ 未入力の GP すべてに「G」が設定されます。

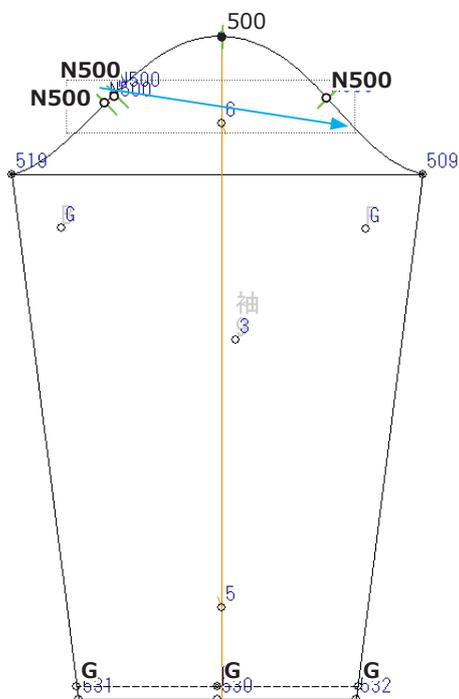
<後身頃>



後身頃を完成させます

- ① アームホールのダブルノッチは、ドラッグ選択し2つまとめて入力します。肩先から一定の距離「N319」と入力します。
- ② 半身を修正後、対称プランニングを実行します。パネルの「対称プランニング」をクリックします。
- ③ 左側をクリックすると矢印が表示します。(2回目から対称軸の設定は必要はありません。)
- ④ Enter キーを押します。対称側の部位コードが更新されます。
- ⑤ 裾のステッチは、「G」を設定します。パーツをクリックしパネルの「残りのポイントをすべてG」をクリックします。
- ⑥ 未入力のGP すべてに「G」が設定されます。

<袖>



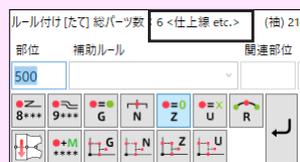
袖を完成させます

身頃は前後ともノッチを肩先から一定の距離に設定しました。袖の合ノッチも、袖山から一定の距離にします。

- ① 袖山線のノッチはドラッグ選択し、すべて「N500」と入力します。
- ② 袖口ステッチはステッチは、「G」を設定します。パーツを選択しパネルの「残りのポイントをすべてG」をクリックします。
- ③ 未入力のすべてに「G」が設定されます。
- ④ 「グレーディング処理」をクリックし残るエラーを確認します。残るエラーは次で解説します。

袖山ノッチについて (基点ノッチ・メジャーノッチ)

袖山「500」は袖山ピッチで移動し、同じ位置にノッチが入ります。このように線がカットされた端点にあるノッチを基点ノッチ、またはメジャーノッチといいます。属性は、「仕上線 etc.」と表示します。



次の動画へ

グレーディング処理とエラー解決 2

参照動画：GT-03_GR 処理

1. エラー内容を確認します「指示関連部位が見つかりません」 解決方法：関連部位を追加します

<袖>



① 「グレーディング処理」をクリックします。

メモ
グレーディング処理で水色になる
ポイントはエラーです。

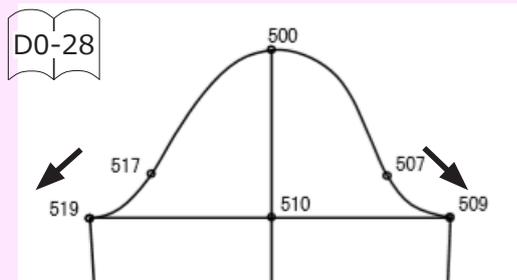
② グレーディングポイントの「509」「519」にエラーがあります。

なぜ??



③ グレーディングルールマニュアルを確認してみましょう。

(ルールマニュアル確認)



<条件1> D0-57

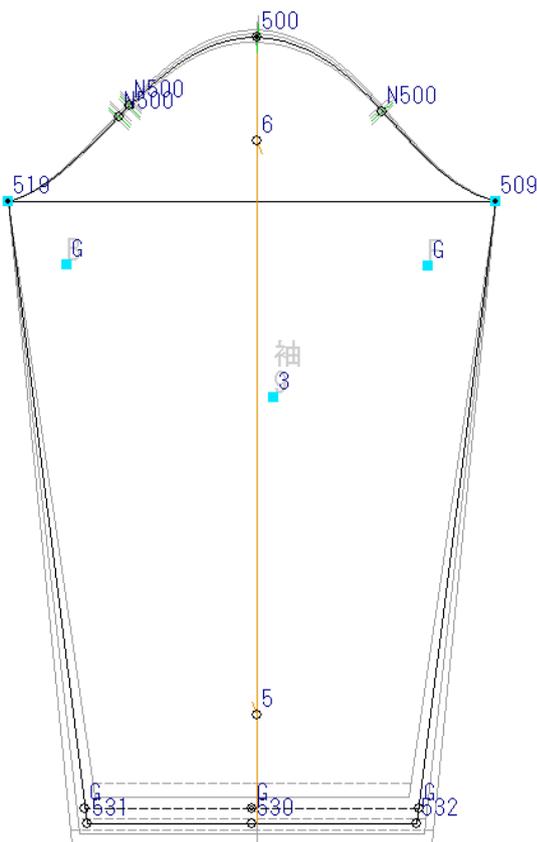
*509	X	507からBシフト ΔL=FL08
	Y	0

509 は、507 から FL08 分伸ばします
(FL08=127 ~ 159 自動計測する部位コード)

<条件1> D0-58

*519	X	517からBシフト ΔL=FL11
	Y	0

519 は、517 から FL11 分伸ばします
(FL11=327 ~ 359 自動計測する部位コード)

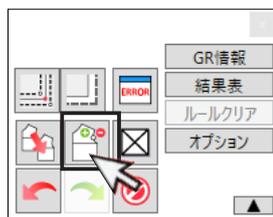


④ 「509」には「507」が、「519」には「517」が必須です。
このパーツには必須の部位コードがないためエラーになりました。

⑤ 「507」「517」を入力するグレーディングポイントがありません。
次で追加する方法を解説します。

2. グレーディングポイント追加します 「点の追加・削除」

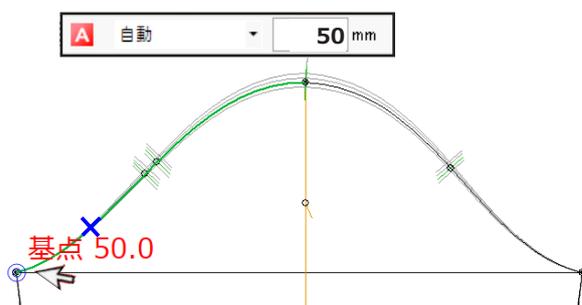
*関連部位「507」「517」を入力するグレーディングポイントを追加しましょう



① 「点の追加・削除」をクリックします。



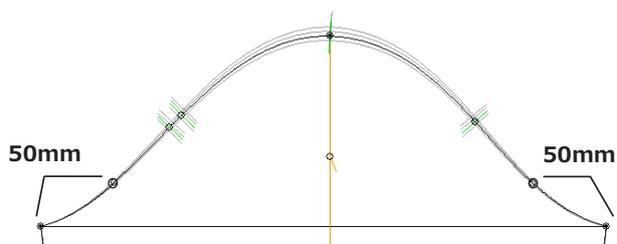
② パネルの「+」をクリックします。



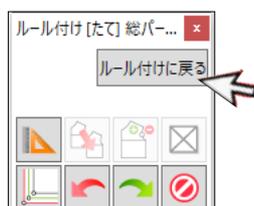
③ 袖下から 50mm の位置にグレーディングポイントを作成します。

メモ

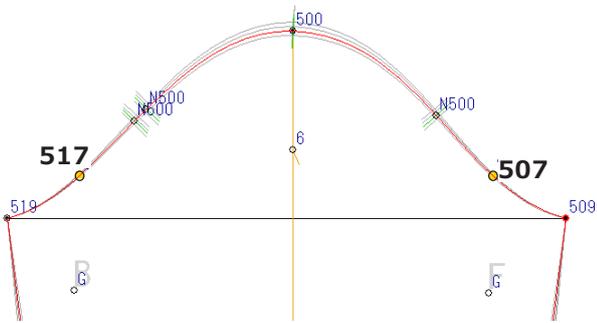
点を追加する位置は、
パターンに合わせて設定します。
(50 mmは既定値ではありません。)



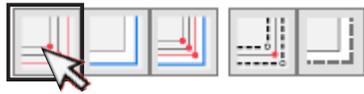
④ 前袖山にも同じように作成します。



⑤ 「ルール付けに戻る」をクリックし、部位コードを設定します。



⑥ 追加したグレーディングポイントに「507」「517」と入力します。



⑦ 「グレーディング処理」をクリックします。
エラー表示がでてこなくなりました。

*** エラー表示があるときはここまでの操作を見直しましょう ***

「点の追加・削除」パネル説明

グレーディングポイントは線の端点（線がカットされている箇所）です。
グレーディングメニュー内では「点の追加・削除」でポイントの追加・削除の操作をします。



グレーディング後のチェック

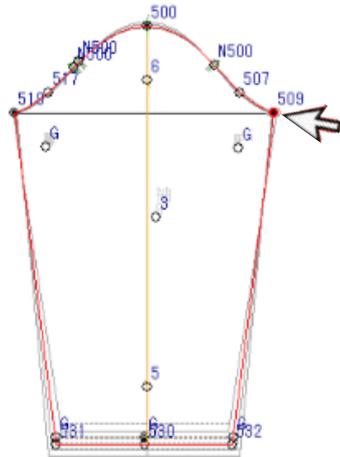
参照動画 : GT-04_チェック_1

グレーディング処理でエラーが表示されなくなったら、次はチェックです。
ここからはいろいろなチェック操作を説明します。

1. 「シフトバリュー」解説

* グレーディングポイントを指示し X、Y の移動量を確認します。

<袖>



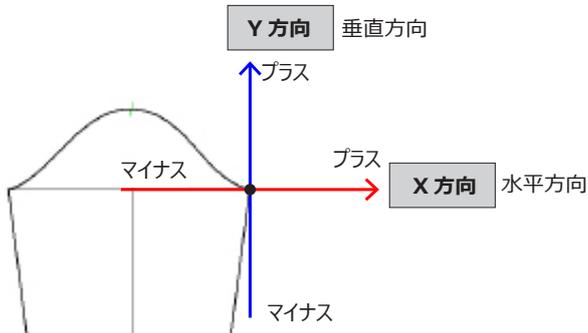
① 袖で確認してみましょう。
「509」のグレーディングポイントをクリックし
XY 移動量を確認します。

② 「シフトバリュー」をクリックします。



③ サイズごとに X、Y 方向に移動した量を確認します。

部位	7	9	11	13
509	X	1.94	-2.04	-2.15
	Y	0.00	0.00	0.00
	X			
	Y			



「シフトバリュー」パネル説明

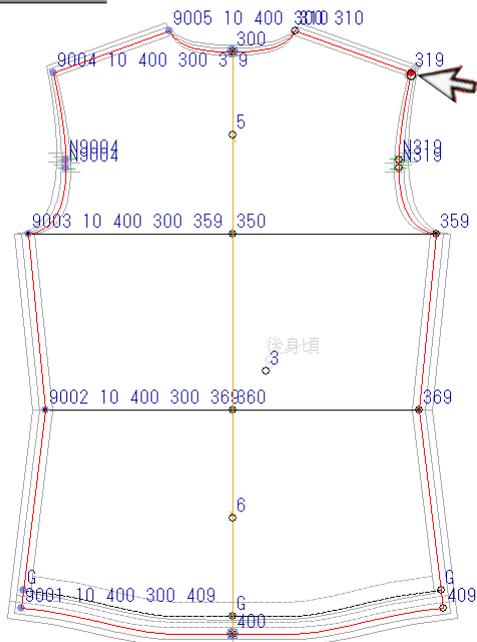
- ・ クリックしたグレーディングポイントの移動量を表示します。
- ・ 新しいものが上に表示され、古いものは下へ移動し行数をこえると削除されます。
- ・ キャンバス上をクリックすると、表の数値がクリアされます。
- ・ 右上「×」でパネルを閉じます。

部位	7	9	11	13
400	X	0.00	0.00	0.00
	Y	20.00	-10.00	-10.00
300	X	0.00	0.00	0.00
	Y	0.00	0.00	0.00
359	X	-7.50	7.50	7.50
	Y	3.90	-3.90	-3.90

新しい ↑
古い ↓
削除

← 行数を変更できます。(1 ~ 10 行)

<後身頃>



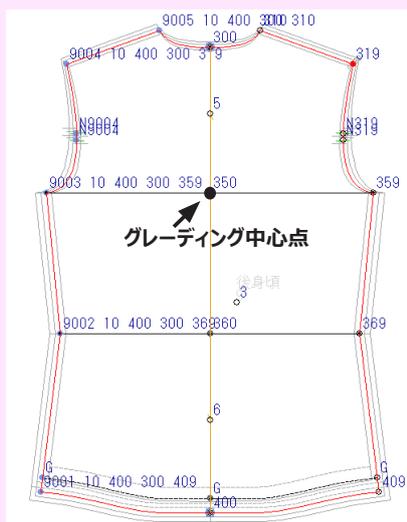
① 肩先ポイント「319」をクリックします。

シフトバリュー					
部位		7	9	11	13
319	X		-4.00	4.00	4.00
	Y		-3.88	3.88	3.88

この移動量は移動量計算式の結果です。



(ルールマニュアル確認)



D0-51

*319	X	$1/2 * BW + DQ$	○
	Y	315,314,310から平行	

(BW:8) (DQ:0) なのでこれを式にあてはめると $1/2 \times 8 + 0 = 4$ となり X 方向の移動量は4になります。後身頃は「350」がグレーディング中心点 (X=0,Y=0) で計算式設定しています。

そのため大きいサイズでは、プラス4
小さいサイズでは、マイナス4と表示されます。

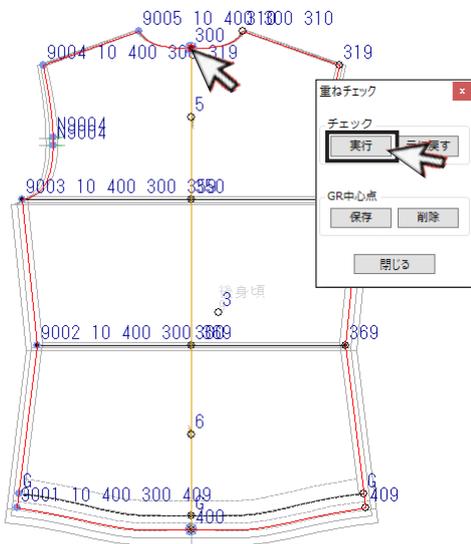
シフトバリュー					
部位		7	9	11	13
300	X		0.00	0.00	0.00
	Y		-3.90	3.90	3.90
359	X		-7.50	7.50	7.50
	Y		0.00	0.00	0.00
319	X		-4.00	4.00	4.00
	Y		-3.88	3.88	3.88

② 続けてバスト「359」バックネック「300」をクリックします。クリックすると新しいポイントの移動量が上に追加されます。

表はそのまま消さずに次のページに進みます。
次で説明する「重ねチェック」と組み合わせて確認します。

2. 「重ねチェック」と「シフトバリュー」 解説

* 重ねチェックはグレーディング中心点（重ねるポイント）を変更して表示できます。
後身頃「300」で重ねてみましょう。



① 「重ねチェック」をクリックします。

② 後中心ポイント「300」をクリックし「実行」をクリックします。
(指示ポイントで展開パーツが重なります。)

③ 先ほど確認したシフトバリューの「300」の移動量はXYともに現在値に変更され、「移動量0」になります。

シフトバリュー		7	9	11	13	3
300	X	0.00	0.00	0.00	0.00	
	Y	0.00	0.00	0.00	0.00	
359	X	-7.50	7.50	7.50		
	Y	3.90	-3.90	-3.90		
319	X	-4.00	4.00	4.00		
	Y	0.02	-0.02	-0.02		

「359」「319」の移動量も変更されています。

シフトバリュー		7	9	11	13	3
400	X	0.00	0.00	0.00		
	Y	20.00	-10.00	-10.00		
300	X	0.00	0.00	0.00		
	Y	0.00	0.00	0.00		
359	X	-7.50	7.50	7.50		
	Y	3.90	-3.90	-3.90		

④ ポイント「400」をクリックし、「シフトバリュー」のY値の移動量が指定した着丈ピッチになっていることが確認できます。

「重ねチェック」 パネル説明

「実行」

指示した GP を中心に表示します
終了すると標準の中心点に戻ります

「保存」

指示した GP を中心点にし
終了してもその状態を保ちます

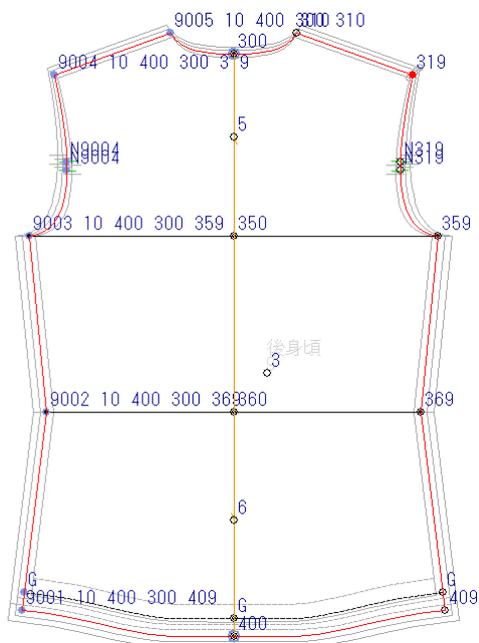


「元に戻す」
すぐに標準の中心点に戻す

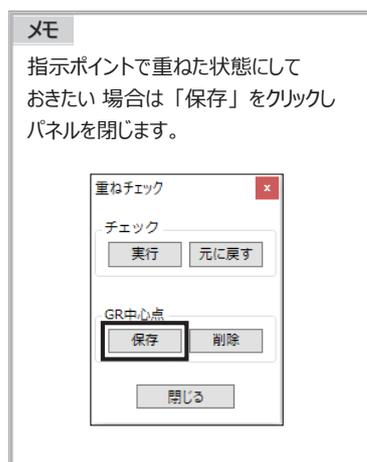
「削除」
保存した中心点を削除し
標準の中心点に戻します



⑤ 「閉じる」または、「X」をクリックし終了します。



⑥ パネルを閉じると、元の重なり位置に戻ります。



シフトバリュー

部位		7	9	11	13
300	X		0.00	0.00	0.00
	Y		-3.90	3.90	3.90
359	X		-7.50	7.50	7.50
	Y		0.00	0.00	0.00
319	X		-4.00	4.00	4.00
	Y		-3.88	3.88	3.88

全コピー CSV出力

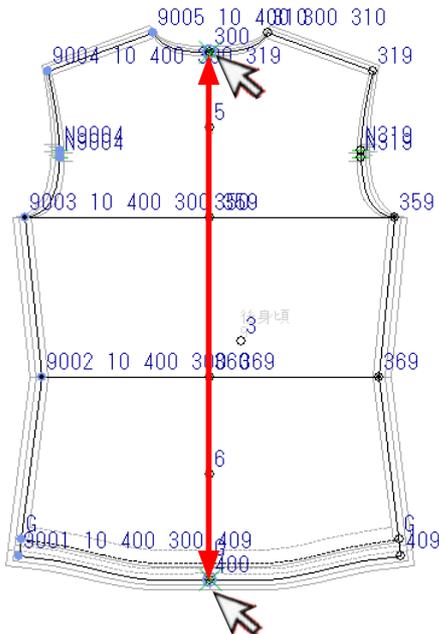
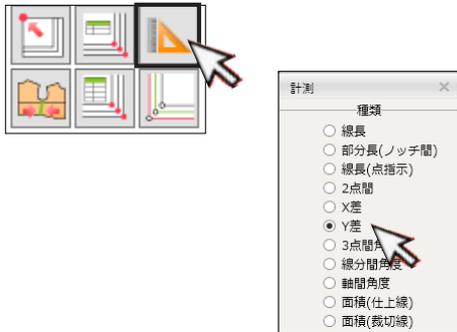
⑦ 「シフトバリュー」のパネルも閉じます。



3. 「サイズ間計測」 解説

* マスターパターンの計測箇所を指示をすると、全サイズの計測結果が表示します。
サイズ間計測を使ってチェックしましょう。

着丈を計測します



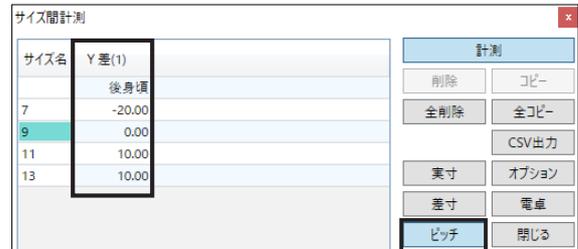
	着丈	袖丈	肩幅
サイズ名	Y差(1)	Y差(2)	2点間(1)
	後身頃	袖	後身頃
7	-20.00	-20.00	-8.00
9	0.00	0.00	0.00
11	10.00	10.00	8.00
13	10.00	10.00	8.00

① 「サイズ間計測」 をクリックします。

② 種類を選択します。
「Y 差」 にチェックを入れます。

メモ
計測の種類は PM II と同じです。

③ ポイント「400」と「300」をクリックします。
(全サイズの計測結果が表示します。)

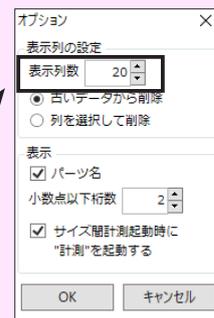
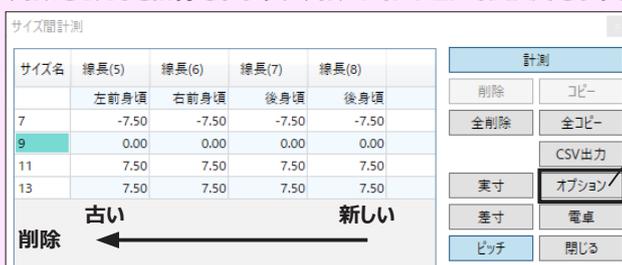


メモ
計測した結果は、「実寸」「差寸」「ピッチ」で確認できます。

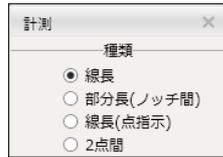
④ 必要に応じて、計測の種類を変更し、袖丈や肩幅も指定ピッチで移動していることを確認しましょう。

「サイズ間計測」 パネル説明

- 計測結果は、新しいものが右に追加されます。
- 指定の列数をこえると削除されます。列数はオプションで変更できます。



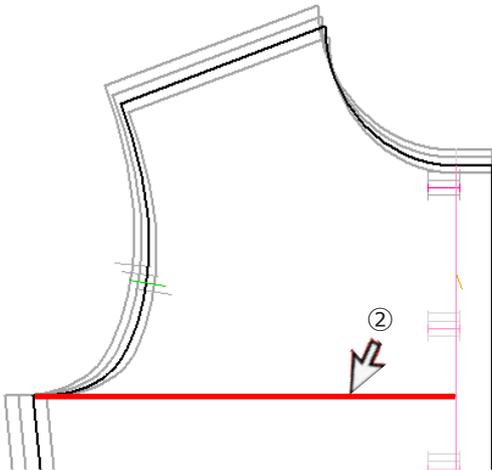
バストを計測します



① 「線長」をクリックします。

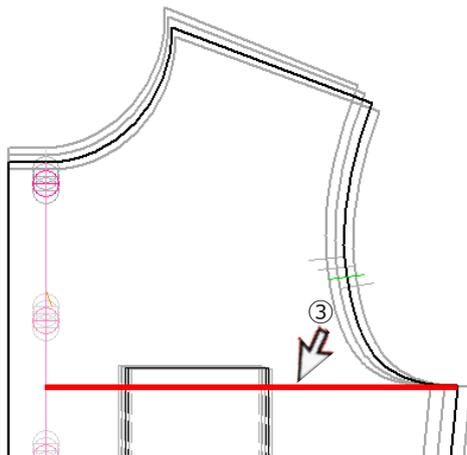
メモ

「線長」「部分長」は終了時に「Enter」キーを押すと表示します。



② 右前身頃のバスト線をクリックし、Enter キーを押します。

サイズ名	Y差(1)		線長(1)
	後身頃	右前身頃	
7	-20.00	-7.50	
9	0.00	0.00	
11	10.00	7.50	
13	10.00	7.50	



③ 左前身頃のバスト線をクリックし、Enter キーを押します。

サイズ名	Y差(1)		線長(1)	線長(2)
	後身頃	右前身頃		左前身頃
7	-20.00	-7.50	7.50	
9	0.00	0.00	0.00	
11	10.00	7.50	-7.50	
13	10.00	7.50	-7.50	

④ 左前身頃の計測結果で大きいサイズがマイナス値になっています。

なぜ??



(決まり事)

「X フリップ」「Y フリップ」

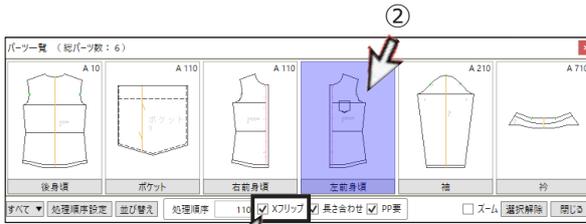
- ・「D0」は右身頃を基準に計算式を設定しています。そのため左身頃は X の移動量を逆にする必要があります。
X の移動量を逆にする設定を「X フリップ」といいます。
- ・たて置きの場合は、「X フリップ」、よこ置きの場合は「Y フリップ」となります。
- ・ルールマニュアルには、「X フリップ」と記載はありますが、自動で設定されるわけではありません。

4. 「X フリップ」を設定します

* Xの移動方向を逆にします。左前身頃に「X フリップ」の設定をしてみましょう。



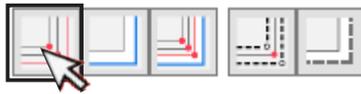
① 「GR パーツ情報一覧」をクリックします。



② キャンバス上の左前身頃または、表中の左前身頃をクリックします。選択状態になります。

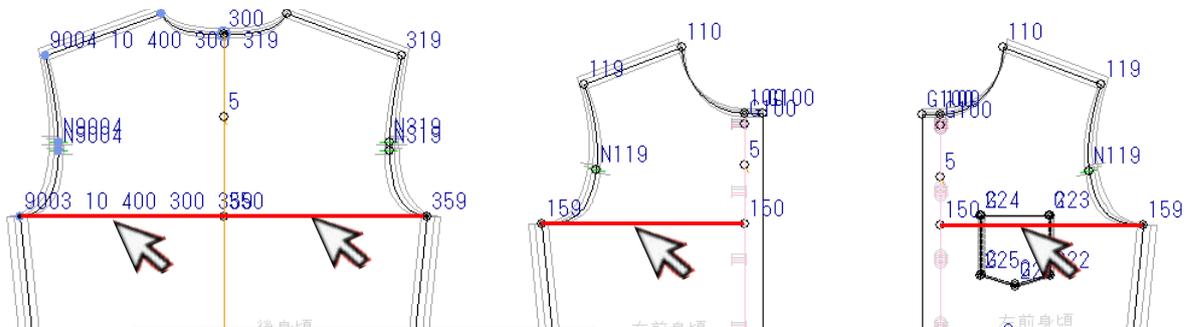
③ 「X フリップ」にチェックを入れます。「閉じる」をクリックし、パネルを閉じます。

③



④ 「グレーディング処理」をクリックします。

⑤ 「サイズ間計測」で確認します。バストを計測し、正しく移動していることを確認します。



サイズ名	線長(3)	線長(4)	線長(5)	線長(6)
	左前身頃	右前身頃	後身頃	後身頃
7	-7.50	-7.50	-7.50	-7.50
9	0.00	0.00	0.00	0.00
11	7.50	7.50	7.50	7.50
13	7.50	7.50	7.50	7.50

メモ

「Shift」キーを押しながらバスト線をクリックし最後にEnterキーを押すと、指示した線の合計値で計測できます。



⑥ 計測値を全て削除するには「全削除」をクリックします。



⑦ 「はい」をクリックします。計測値が削除されます。

補足（サイズ間計測）

表示の切替

計測した結果は「実寸」「差寸」「ピッチ」ボタンで切り替えができます。各ボタンを切り替えると計測結果の表示が変わります。

The screenshots show the 'サイズ間計測' window with different display modes selected in the control panel:

- 実寸法表示 (Actual Dimension Display):** Shows absolute measurements for sizes 7, 9, 11, and 13. The '実寸' button is selected.
- 差寸表示 (Difference Dimension Display):** Shows the difference from the master size (size 9). The '差寸' button is selected.
- ピッチ表示 (Pitch Display):** Shows the pitch (difference between adjacent sizes). The 'ピッチ' button is selected.

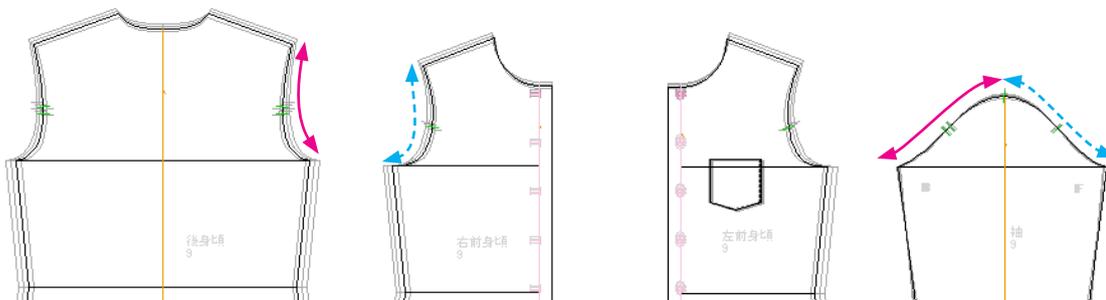
電卓の使い方

- ① 「電卓」をクリックし、電卓を表示します。
- ② 列の上「線長」をクリックすると、一列選択され電卓に入ります。
- ③ 「+」をクリックして計算しましょう。
- ④ つづけて各列をクリックし計測します。
- ⑤ 最後に電卓の「=」をクリックすると計測結果が右に「計測値」として表示します。

袖ぐりと袖山の長さ合わせ

参照動画：GT-04_チェック_3

1. 袖ぐりと袖山長さをチェックします



(後) 袖ぐり / 袖山 (前) 袖ぐり / 袖山

サイズ名	線長(7)		線長(9)	
	後身頃	袖	右前身頃	袖
7	-4.80	0.00	-5.57	0.00
9	0.00	0.00	0.00	0.00
11	4.84	0.00	5.61	0.00
13	4.89	0.00	5.64	0.00

- ① 「サイズ間計測」の「線長」で前後袖ぐり長さと前後袖山長さを計測します。
- ② 計測結果は、袖山長さがでていません。(袖ぐりの長さを引き継いでいません。)

なぜ??



2. 袖ぐりと袖山に必要な部位コードを確認します

(決まり事)

袖山の部位コードの計算式には長さ合わせ設定（袖山は袖ぐり長さを引き継ぐ）がされています。

今回の特別ルール「袖山線」の条件は「袖ぐり4分割の長さ合わせ」が適用となります。

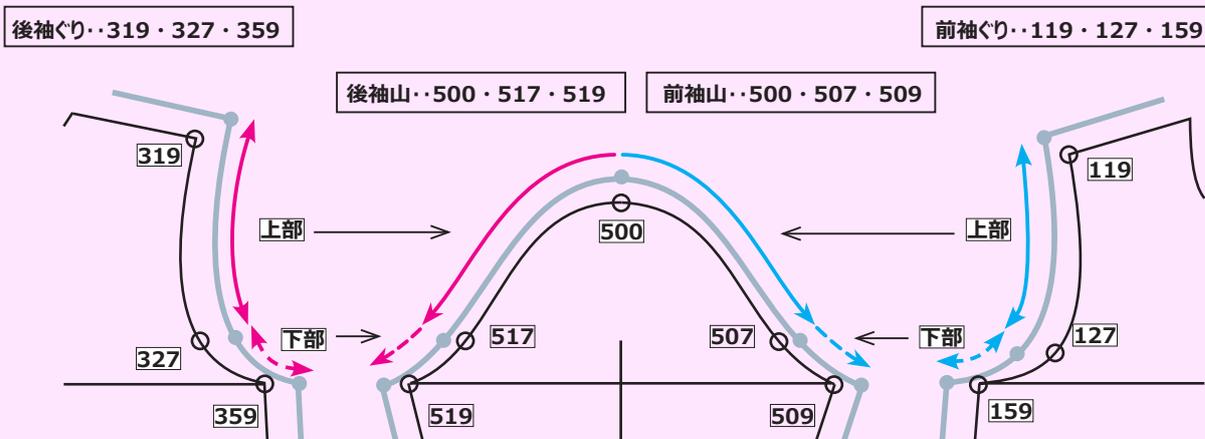
袖ぐりと袖山をそれぞれ4つに分けて長さ合わせします。

このとき条件として身頃にも袖にも下記メジャー部位コードが必要となります。

各線路上に必要なコードは次のとおりです。【後袖ぐり：319・327・359 後袖山：500・517・519】

【前袖ぐり：119・127・159 前袖山：500・507・509】

・長さ合わせに必要なポイントは、外周線に必要です。(属性が仕上線または裁切線です。内部線やノッチではいけません。)



- ① 原因は、長さ合わせに必要な身頃の部位コード「127」「327」がありません。解決するには、グレーディングポイントを追加して部位コードを入力します。

3. 袖ぐりにグレーディングポイントを追加します

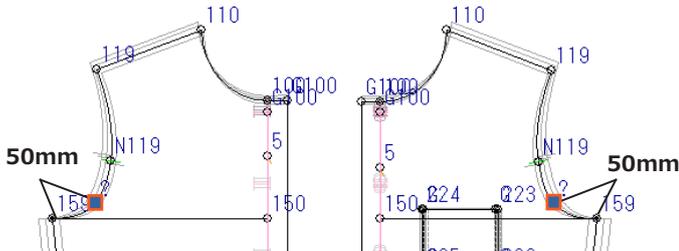
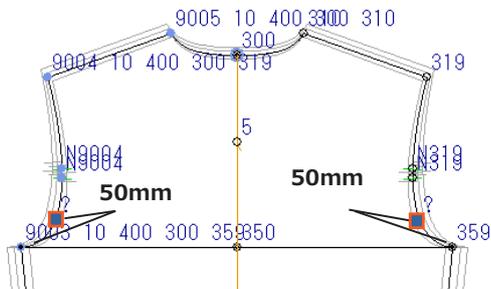


① 「点の追加・削除」をクリックします。

② 「+」をクリックします。

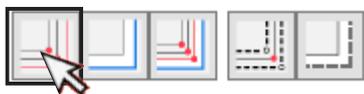
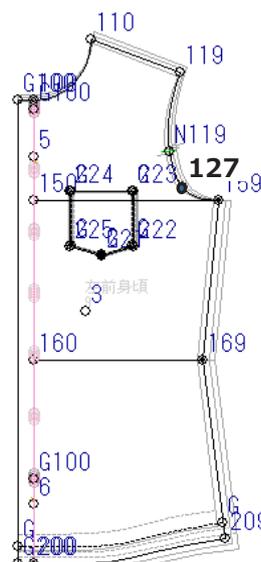
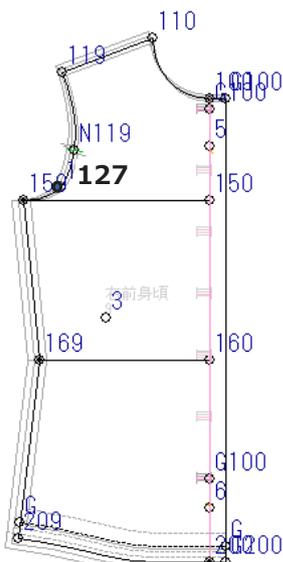
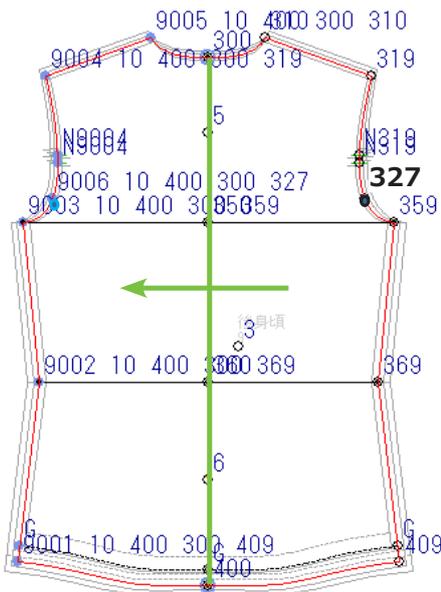
今回は、袖ぐりの鎌底から 50mm の位置にグレーディングポイントを追加します。

メモ
 点を追加する位置は、パターンに合わせて作成します。作成する目安は袖ぐりの深い位置です。(50mmは既定値ではありません。)



③ 部位コードを入力します。

後身頃は再度「対称プランニング」を実行します。



④ 「グレーディング処理」をクリックします。

⑤ 「サイズ間計測」の「線長」で前後袖ぐりと、前後袖山を計測します。

計測結果から正しく移動していることを確認しましょう。

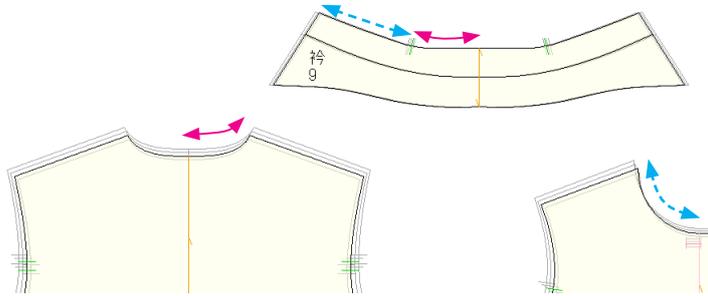
サイズ名	(後) 袖ぐり / 袖山		(前) 袖ぐり / 袖山	
	線長(1)	線長(2)	線長(3)	線長(4)
	後身頃	袖	右前身頃	袖
7	-5.72	-5.85	-6.28	-6.50
9	0.00	0.00	0.00	0.00
11	5.78	5.92	6.30	6.53
13	5.84	5.97	6.32	6.55

メモ
 長さ合わせの計測値は 0.5mm 前後の差が出ます。

衿ぐりと衿付け線の長さ合わせ

参照動画：GT-04_チェック_4

1. 衿ぐりと衿付け線の長さをチェックします



(前)
衿ぐり / 衿付け線

サイズ名	線長(5)	線長(6)	線長(7)	線長(8)
	後身頃	衿	右前身頃	衿
7	-2.23	-2.23	-2.93	0.00
9	0.00	0.00	0.00	0.00
11	2.23	2.23	2.93	0.00
13	2.23	2.23	2.93	0.00

① 「サイズ間計測」の「線長」で、前後衿ぐり長さと前後衿付け長さを計測します。

② 計測結果は、前衿付け長さがでていません。

なぜ??



2. 衿ぐりと衿付け線に必要な部位コードを確認します

(決まり事)

衿の部位コードの計算式には長さ合わせ設定（衿付け線は衿ぐり長さを引き継ぐ）がされています。

・条件として身頃にも衿にも下記メジャー部位コードが仕上線に必要です。

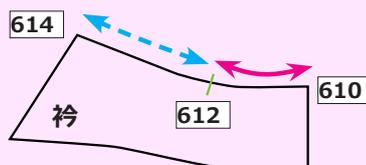
【後衿ぐり：300・310 後衿付け：610・612 前衿ぐり：100・110 前衿付け：612・614】

・長さ合わせに必要な部位コードは、外周線に必要です。

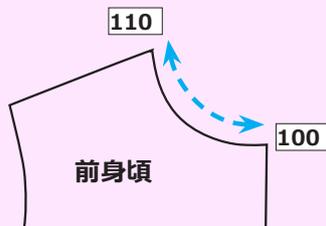
(属性が仕上線または裁切線です。内部線やノッチではいけません。)

前衿付け・・612・614

後衿付け・・610・612



前衿ぐり・・100・110

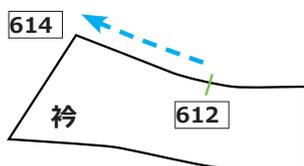


前身頃

後衿ぐり・・300・310



後身頃



(ルールマニュアル確認)

D0-63

*614	-	612からAシフト ΔL=FL01+FL02-LU
	-	

614は、612からAシフト（伸ばす）ΔL（ピッチ分）となります。「FL01」って何でしょう？次で解説します。

3. 「長さ合わせ結果表」解説

*長さ合わせの対象コードを自動計測した計測結果が確認できます。
結果表で「前衿ぐり」「後衿ぐり」の結果を確認しましょう。



① 「結果表」をクリックします。



② 「長さ合わせ結果表」をクリックします。

番号	コメント	計測方法	整合	7	9	11	13
FL04	後衿ぐり(身頃)	曲線	○		-2.23	2.23	2.23
FL06	前衿ぐり(上部)	曲線	○		-4.00	4.01	4.02
FL07	前衿ぐり(全体)	曲線	○		-6.28	6.30	6.32
FL08	前衿ぐり(下部)	曲線	○		-2.28	2.29	2.30
FL09	後衿ぐり(上部)	曲線	○		-3.85	3.86	3.87
FL10	後衿ぐり(全体)	曲線	○		-5.72	5.78	5.84
FL11	後衿ぐり(下部)	曲線	○		-1.87	1.92	1.97
FL14	肩線長さ(前)	曲線	○		-2.14	2.14	2.14
FL29	前衿山線	曲線	○		-6.50	6.53	6.55
FL30	後衿山線	曲線	○		-5.85	5.92	5.97

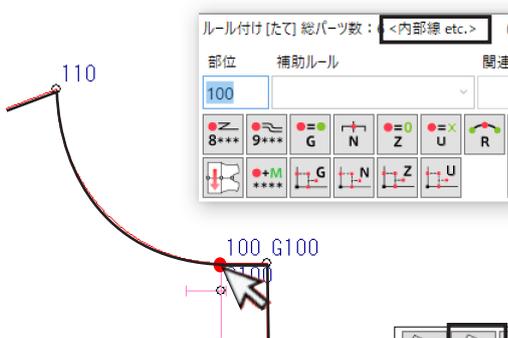
③ 表を確認すると、「後衿ぐり」は結果表内にありますが「前衿ぐり」がありません。
(ここに表示がなければ自動計測できなかったことになります。)

④ 前衿ぐりに必要な部位コードが「仕上線」のグレーディングポイントに入力しているか確認しましょう。
(仕上線にないと自動計測されません)

D0-70

番号	項目	管理範囲部位コード
FL01	前衿ぐり(身頃)	(110)09,108,106,608,604,(100)

4. 衿ぐりにグレーディングポイントを追加します



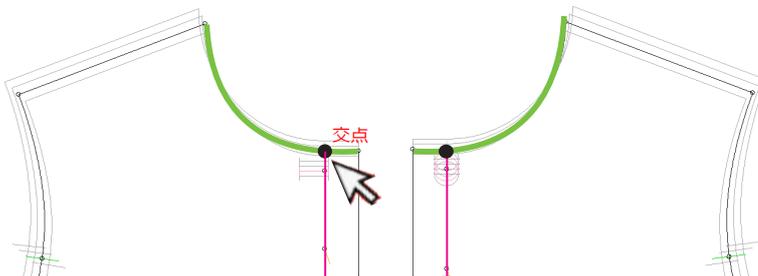
① 前衿ぐりポイント「100」をクリックすると属性が「内部線」になっています。
前中心線（内部線）の端点で、衿ぐり（仕上線）にグレーディングポイントがありません。これが原因です。
「仕上線」にするためには、「点の追加」します。

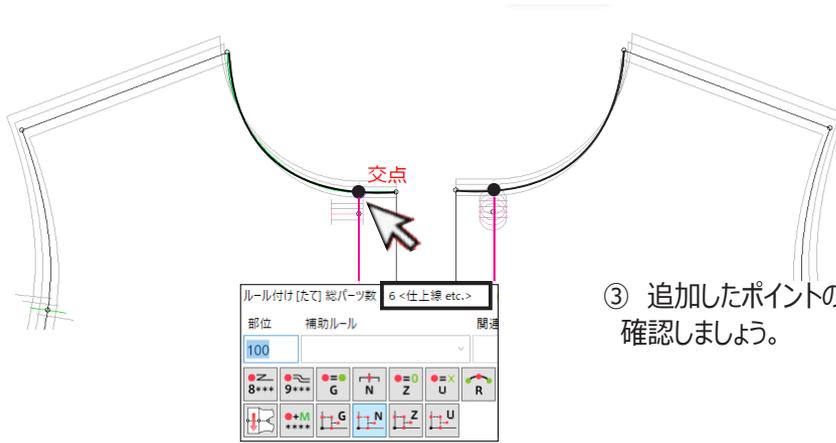


② 「点の追加・削除」をクリックします。

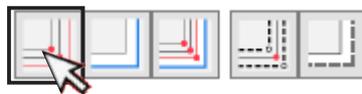
③ 「+」をクリックします。

④ 前身頃の衿ぐりにグレーディングポイント追加します。





③ 追加したポイントの属性が「仕上線」になっていることを確認しましょう。



④ 「グレーディング処理」をクリックします。

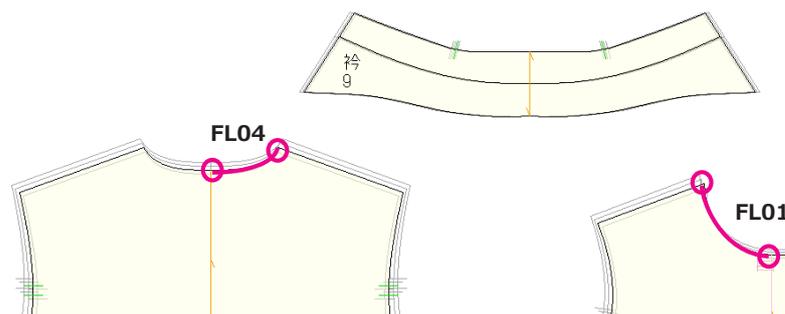


⑤ 「サイズ間計測」の「線長」で前衿ぐり長さを確認します。計測結果が正しく移動していることを確認します。

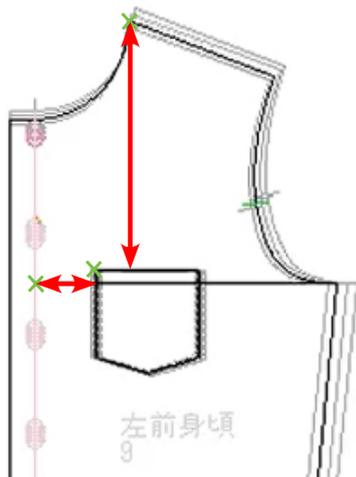
番号	コメント	計測方法	整合	7	9	11	13
FL01	前衿ぐり(身頃)	曲線	○	-2.81	2.82	2.82	2.82
FL04	後衿ぐり(身頃)	曲線	○	-2.23	2.23	2.23	2.23
FL06	前衿ぐり(上部)	曲線	○	-4.00	4.01	4.02	
FL07	前衿ぐり(全体)	曲線	○	-6.28	6.30	6.32	
FL08	前衿ぐり(下部)	曲線	○	-2.28	2.29	2.30	
FL09	後衿ぐり(上部)	曲線	○	-3.85	3.86	3.87	
FL10	後衿ぐり(全体)	曲線	○	-5.72	5.78	5.84	
FL11	後衿ぐり(下部)	曲線	○	-1.87	1.92	1.97	
FL14	肩線長さ(前)	曲線	○	-2.14	2.14	2.14	
FL29	前袖山線	曲線	○	-6.50	6.53	6.55	
FL30	後袖山線	曲線	○	-5.85	5.92	5.97	

⑥ 「長さ合わせ結果表」にも表示されているのが確認できます。

⑦ 番号をクリックするとキャンバス上の計測箇所がピンクで表示されます。



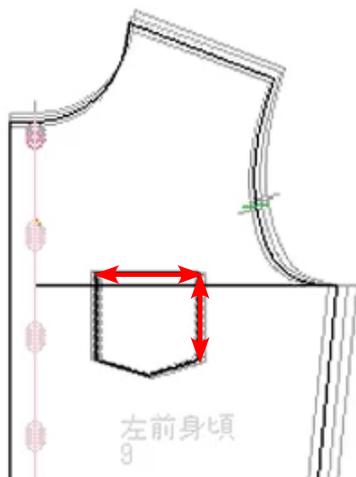
5. ポケット位置を計測します



- ① 「サイズ間計測」の「X 差」で前中心からポケット位置を計測します。
- ② ネックポイントからの位置を「Y 差」で計測します。

サイズ名	X 差(1)	Y 差(1)
	左前身頃	左前身頃
7	-2.00	-5.00
9	0.00	0.00
11	2.00	5.00
13	2.00	5.00

6. 身頃のポケットの大きさを確認します

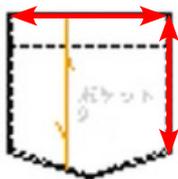


- ① 「サイズ間計測」の「線長」で身頃のポケット幅と長さを計測します。

サイズ名	X 差(1)	Y 差(1)	線長(19)	線長(20)
	左前身頃	左前身頃	左前身頃	左前身頃
7	-2.00	-5.00	0.00	0.00
9	0.00	0.00	0.00	0.00
11	2.00	5.00	0.00	0.00
13	2.00	5.00	0.00	0.00

7. ポケットの大きさを確認します

- ① 「サイズ間計測」の「線長」でポケットの幅と長さを計測します。



サイズ名	Y 差(1)	線長(19)	線長(20)	線長(21)	線長(22)
	左前身頃	左前身頃	左前身頃	ポケット	ポケット
7	00	-5.00	0.00	0.00	0.00
9	00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	00	5.00	0.00	0.00	0.00
13	00	5.00	0.00	0.00	0.00

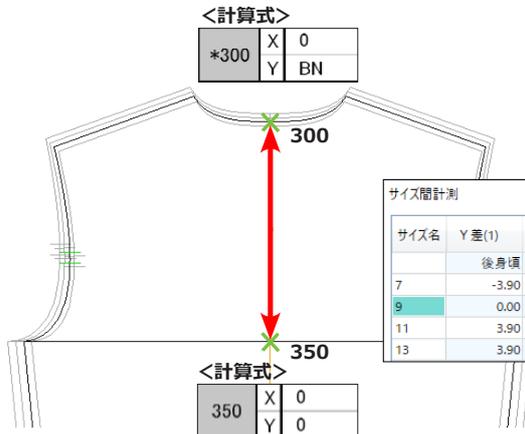
他のパーツもチェックし、正しくグレーディングされていることを確認しましょう。

ピッチを変更

参照動画 : GT-04_ チェック _5

1. 後鎌深のピッチ変更します

* 後鎌深ピッチを 5 mmに変更します。



- ① 「サイズ間計測」の「Y 差」で後鎌深を計測します。
下記計算式から割り出された結果「3.9」でした。

(ルールマニュアル確認)

・特別ピッチに指定していない場合
「グレーディング標準値計算式」が適用されます。



グレーディング標準値計算式

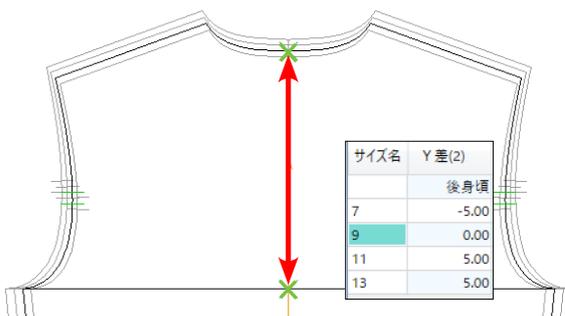
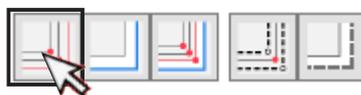
記号	サイズ項目	標準値計算式
	後身頃	
BT	バスト	0
WT	ウエスト	BT
BW	背肩幅	0
QT	着丈	0
NC	袖ぐりまわり	0
BN	後鎌深	0.13*BT

(BT : 30)

$0.13 \times 30 = 3.9$ となります。

特別ピッチ	サイズ項目	式/コマ	1	2	3	7	9	11
BT バスト				30.00				
T01							5.00	0.00
WT ウエスト				30.00				
QT 着丈						20.00	10.00	10.00
BW 背肩幅			8.00					
KL 袖丈						20.00	10.00	10.00
KM 袖口まわり			10.00					
NC 袖ぐりまわり			10.00					
PB 胸ポケ口幅			0.00					
PA 胸ポケ長さ			0.00					
PQ 胸ポケ～前中心			2.00					
PC 胸ポケ～頸筋迄			5.00					
BN 後鎌深			5.00					

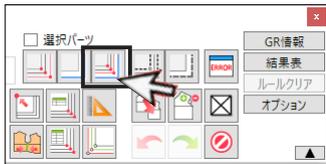
- ② 後鎌深ピッチを 5 mmで指定します。
今回は直接入力してみましょう。
「GR 情報」を開き、特別ピッチに指定します。
- ③ サイズ項目に「BN」と入力（「Shift」キーは押しません）し、Enter キーを押すと「BN 後鎌深」と変換表示されます。
- ④ ピッチ「5」と入力し、「OK」をクリックし GR 情報を閉じます。
- ⑤ 「グレーディング処理」をクリックします。



- ⑥ 「サイズ間計測」の「Y 値」で計測し確認します。
指定のピッチで移動したことを確認しましょう。

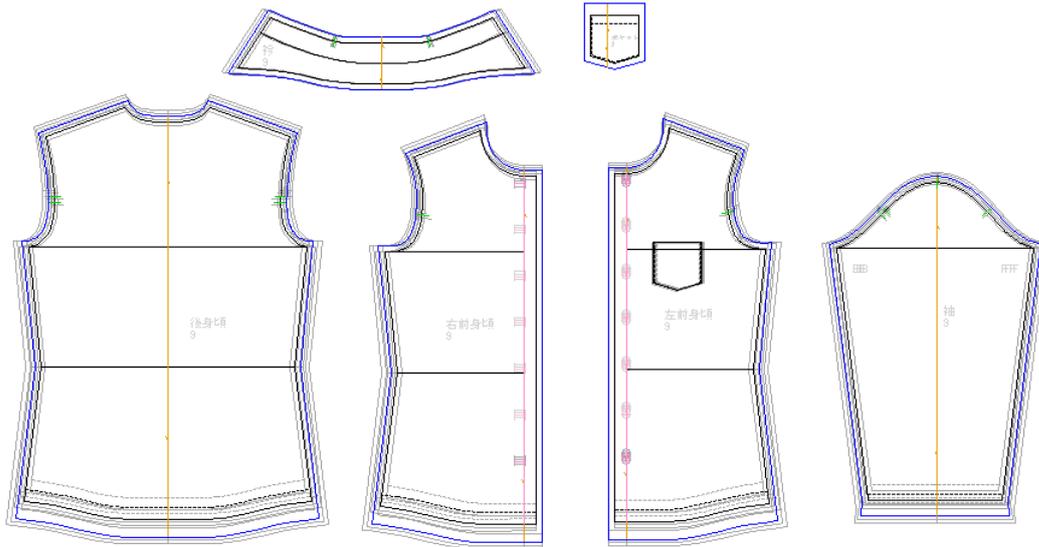
縫い代を付ける

* 全サイズに縫い代を付けましょう



- ① グレーディング後のチェックが終了したら、縫い代処理します。「グレーディング縫い代処理」をクリックします。マスターサイズに設定した縫い代巾を、全サイズに設定します。

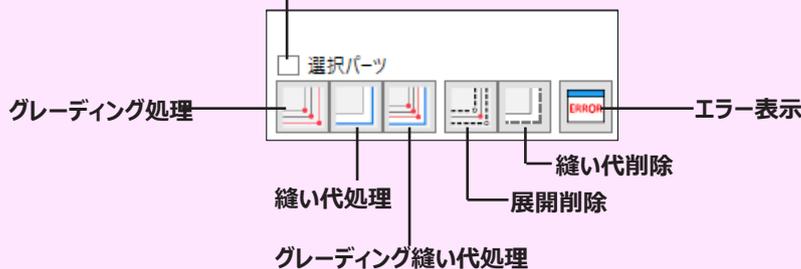
完成！



今回は説明のため、メジャー部位コード、G、Nと分けて部位コード入力していましたがパーツごとに全ての部位コードを入力していくと効率的です。

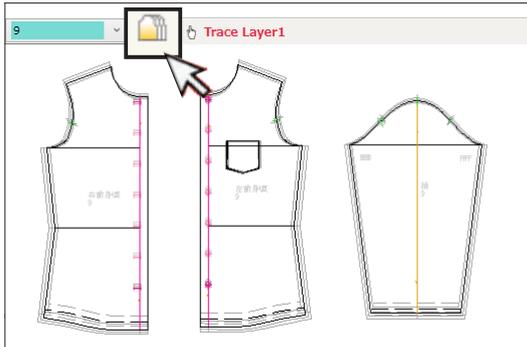
「グレーディング処理」パネル説明

チェックをいれると、選択中のパーツのみグレーディング処理します。通常はチェックを外します。

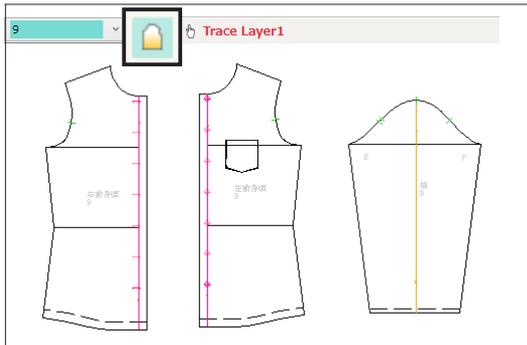


「GR II 基礎トレーニング」 課題 1 は終了です。

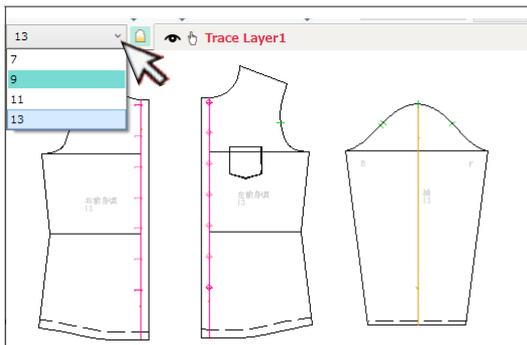
補足（サイズ表示の切替）



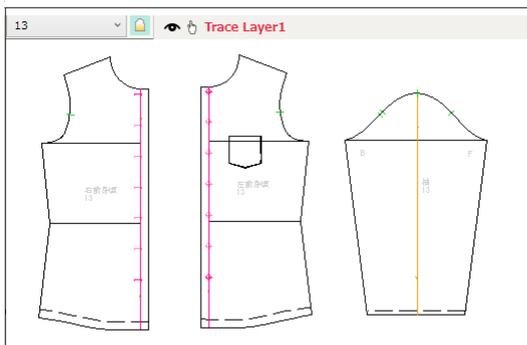
① 「全サイズ表示」をクリックします。



② 1サイズの表示に切り替わりました。



③ 「サイズレイヤー」をクリックし、確認したいサイズを選択します。



④ 指定のサイズの表示に切り替わります。



⑤ マスターサイズ以外でグレーディング操作をすると注意のメッセージが表示されます。

「マスターサイズではありません。
マスターサイズに切り替えますか？」
「はい」をクリックしマスターサイズで操作しましょう。

GR II 基礎トレーニング

課題 2

ここから新たな課題に入ります。
ヨーク切替シャツデータをグレーディングします。

課題 1 の復習としてグレーディングをすすめましょう。
また、ここでは新しく「ダミー点」について解説します。

グレーディング _ 課題 2

参照動画 : GT-05_ダミー点

1. 設定条件でグレーディングします

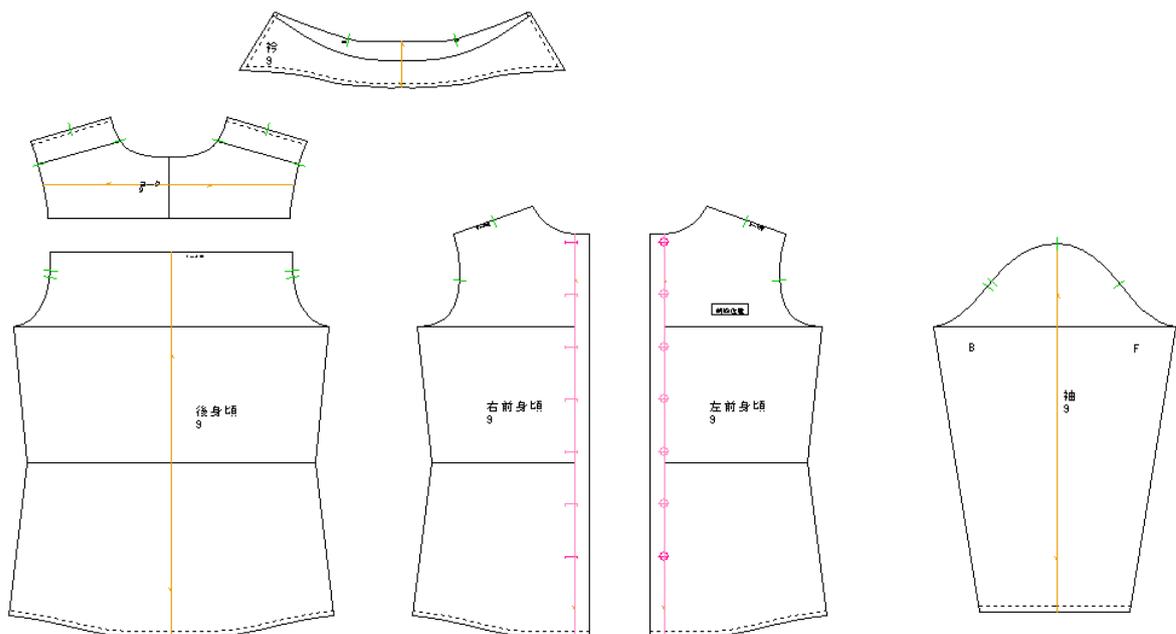
データ : ACS-WEB2

マスターサイズ : 9号

サイズ展開 : 7号、11号、13号

指定のピッチでグレーディングし完成させましょう。

・マスターサイズ



・サイズ表

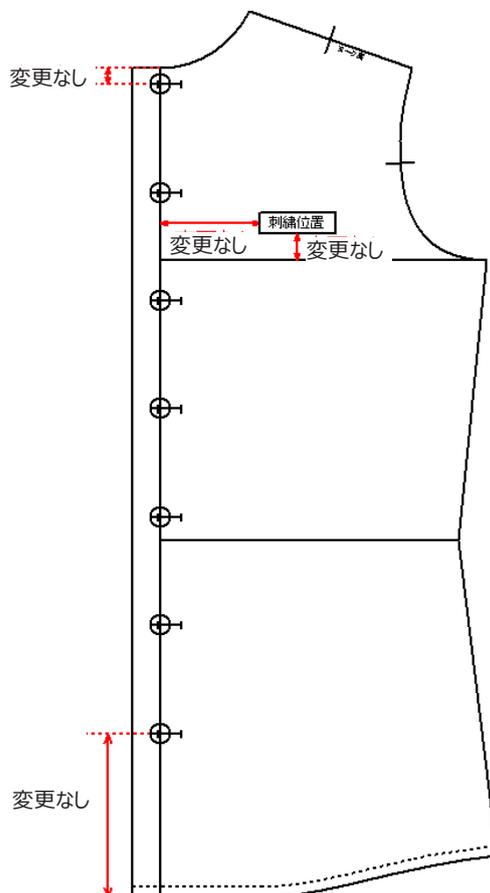
(単位：cm)		7号	9号	11号	13号
バスト	BT	89	92	95	98
ウエスト	WT	81	84	87	90
着丈	QT	63.3	65.3	66.3	67.3
肩幅	BW	37.2	38.0	38.8	39.6
袖丈	KL	52.2	54.2	55.2	56.2
袖口	KM	21.2	22.2	23.2	24.2
衿ぐりまわり	NC	37.8	38.8	39.8	40.8

・前身頃のボタン位置

- 第一ボタン上から一定 (ピッチ0)
- 最終ボタン裾から一定 (ピッチ0)

・刺繍位置

- 前中心からとバストから一定 (ピッチ0)
- 刺繍の大きさ変えません

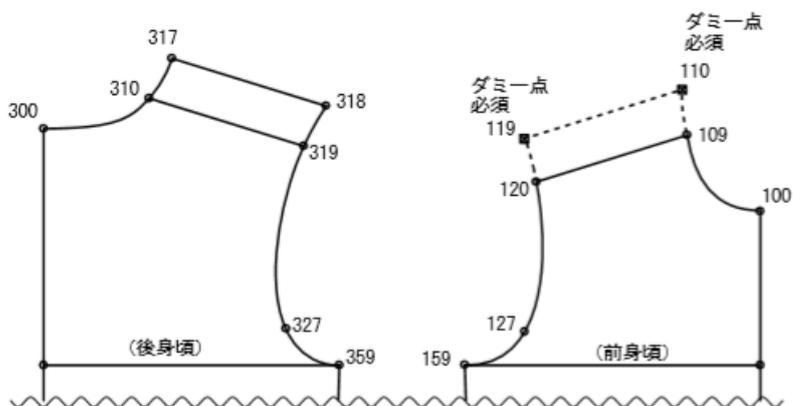


・ピッチ表を作成

* 上記「サイズ表」からピッチを記入してピッチ表を作成しましょう。

cm		7号	9号	11号	13号
バスト	BT	89.0	92.0	95.0	98.0
	単位 mm				
ウエスト	WT	81.0	84.0	87.0	90.0
	単位 mm				
着丈	QT	63.3	65.3	66.3	67.3
	単位 mm				
肩幅	BW	37.2	38.0	38.8	39.6
	単位 mm				
袖丈	KL	52.2	54.2	55.2	56.2
	単位 mm				
袖口	KM	21.2	22.2	23.2	24.2
	単位 mm				
衿ぐりまわり	NC	37.8	38.8	39.8	40.8
	単位 mm				

・ヨーク (ルールマニュアル参照 D0-10)

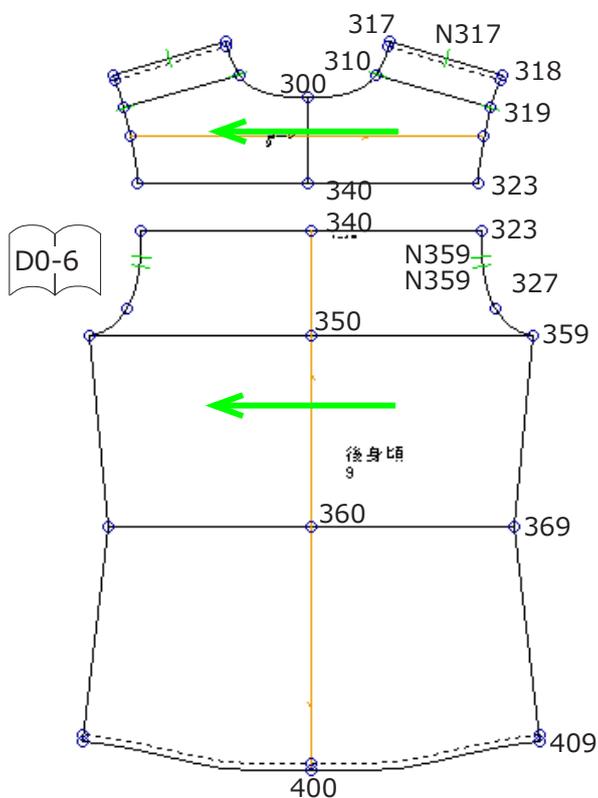
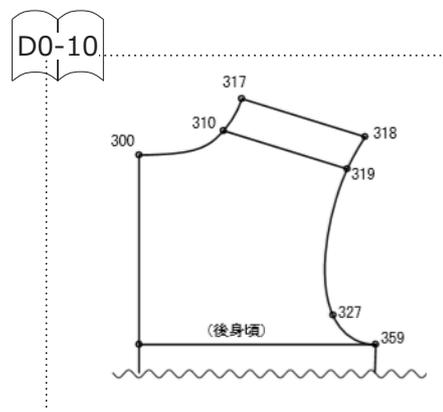


・ 参考部位コード

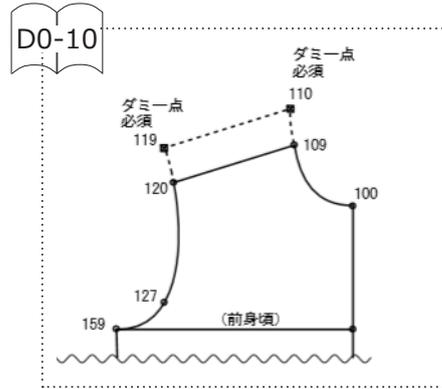
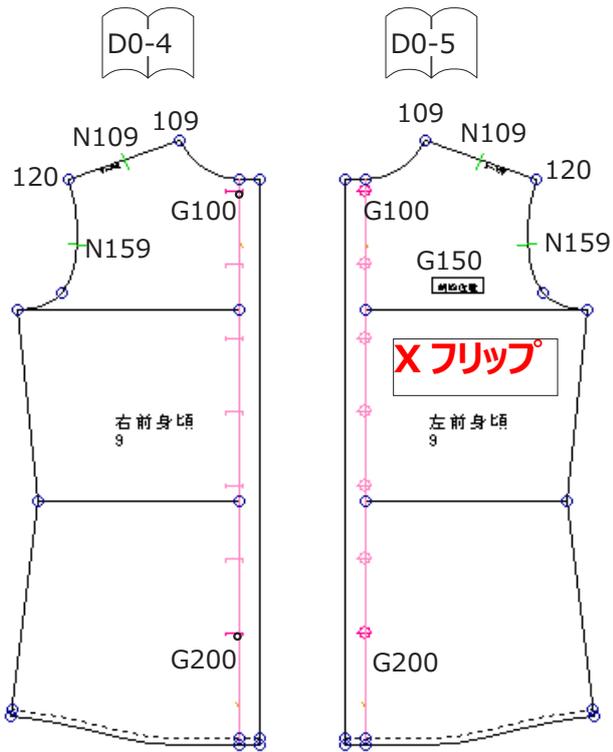
後ヨーク切替です。
前ヨークが後ヨークにくっついています。

今回のノッチは、鎌底が基準です。

対称ブランニングしましょう。



他の部位コードは課題 1 参照

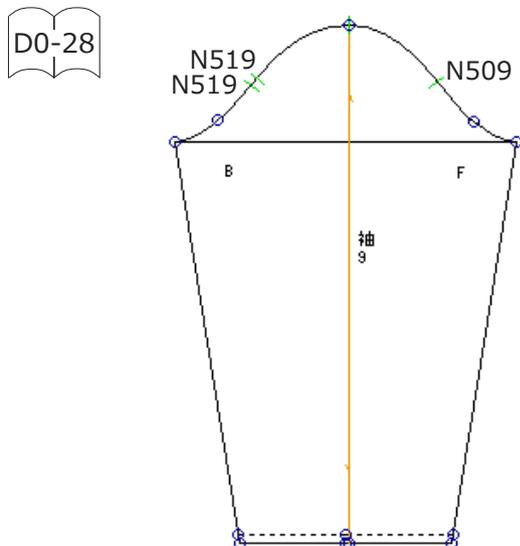


前の肩線は後ヨークにくっついていきます。

今回のノッチは、鎌底が基準です。

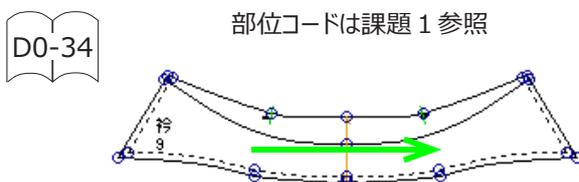
左前身頃は「X フリップ」が必要です。

他の部位コードは課題 1 参照



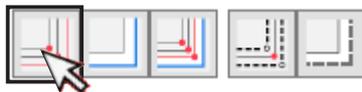
袖山線のノッチは、袖下基準です。

部位コードは課題 1 参照

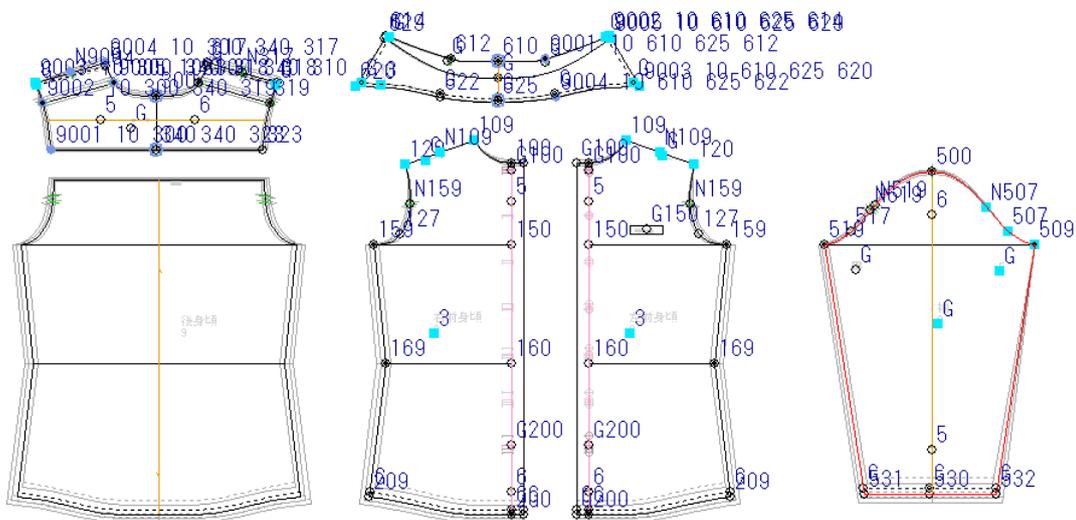


半身入力し対称プランニングします。

・ グレーディング処理

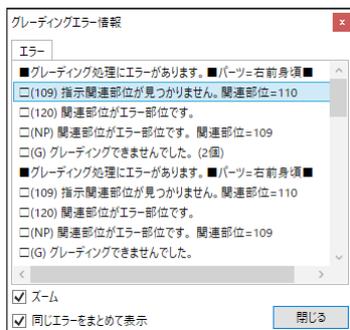


グレーディング処理します。



・ エラー解説

エラーが表示しました。右前身頃、衿ぐりの「109」ポイントを確認します。



(エラー内容確認)

(109) 指示関連部位が見つかりません。関連部位 = 110

原因：(109) のコードには、関連部位 = 110 が必要です。

解決：関連部位 = 110 をパーツ内に追加します。

次のページでルールマニュアルの移動量表を確認しながら解説します。

2. ルールマニュアル「移動量表」の解説

D0-43

ルールマニュアル D0-43 で計算式を確認。

「*」があるルールは
条件によって2つ以上動きがあります。

*109	X	110と100.608.606との2点間		○
	Y	110と100.608.606との2点間		
判別	条件	YK(肩ヨーク 前衿ぐり) 有り		
	B07	-	110からAシフト ΔL=YK	○
		-		

デザイン内に同じ部位コードが複数ある場合「○」があるルールは、
1 箇所移動すると移動量を保存します。
2 箇所目からは関連部位がなくても移動できます。

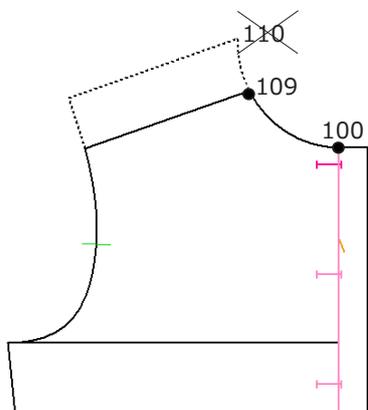
(解説)

「109」は2つの移動量計算式をもっています。「109」「B07」特別ピッチに「YK(肩ヨーク 前衿ぐり)」を指定した場合、「B07」の移動量が適応されます。今回は指定していないので「109」の移動が適応されます。

*109	X	110と100.608.606との2点間		○
	Y	110と100.608.606との2点間		

(解説)

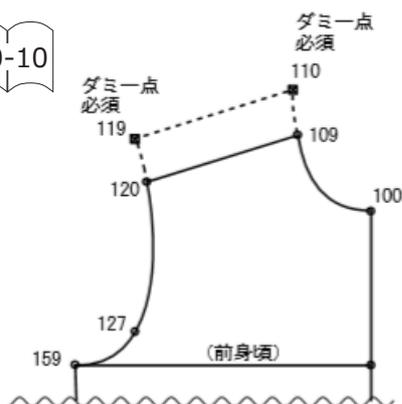
「109」の移動量計算式は「X」「Y」ともに「110」の部位コードと、「100か、608または606」の2点の間をとって移動します。2つの部位コードがないと計算できないためにエラーになります。



(解説)

右前身頃のヨーク部分は切り離され、後ヨークに付いています。ネックポイントがないため部位コード入力できません。

D0-10



マニュアルを確認すると、「ダミー点」というポイントがあります。

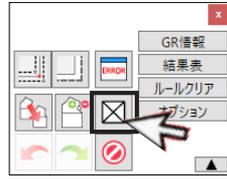
計算上必要な「仮の点」のことを「ダミー点」といいます。

それでは、ダミー点を作成しましょう。

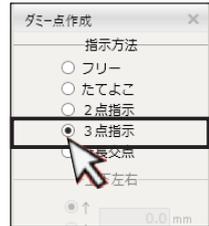
ダミー点

1. 「ダミー点」を作成します

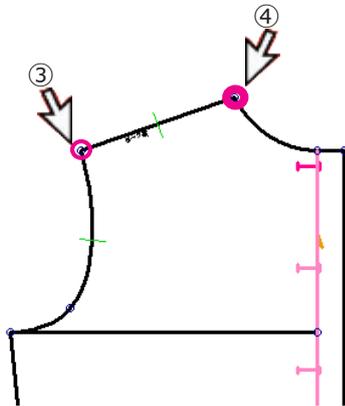
* ダミー点とは他のグレーディングポイントが移動するために必要なポイントのことです。
右前身頃に「110」「119」の位置にダミー点を作成しましょう。



① 「ダミー点」をクリックします。

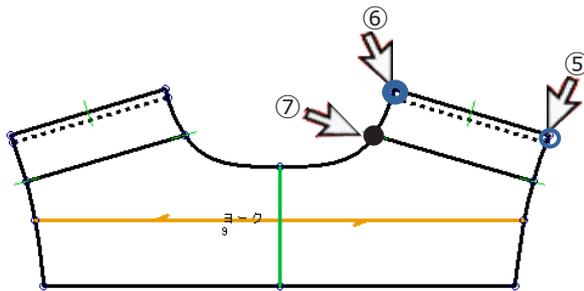


② 「3点指示」をクリックします。



③ 前身頃肩先側をクリックします。

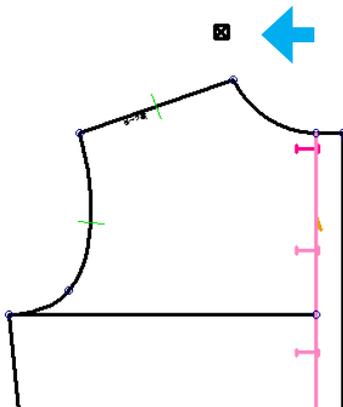
④ 前身頃ネック側をクリックします。
(ダミー点に近いほうを指示します。)



⑤ ヨーク肩先側をクリックします。(③と縫合するポイント)

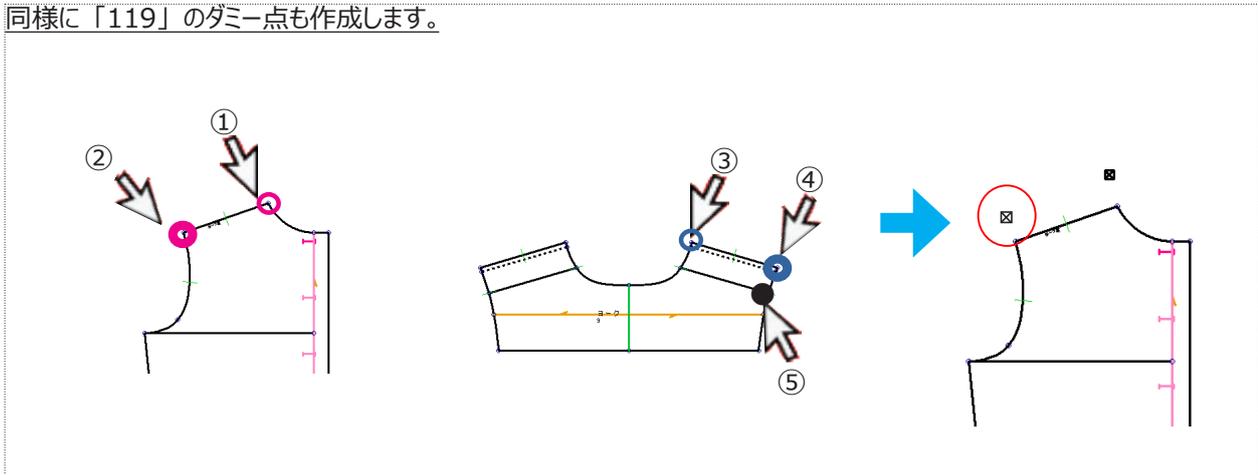
⑥ ヨークネック側をクリックします。(④と縫合するポイント)

⑦ ヨークのネックポイントをクリックします。

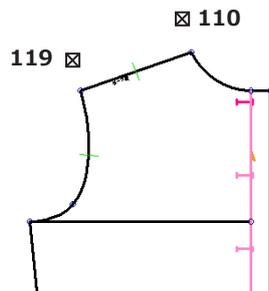


⑧ 前身頃のネックポイント位置にダミー点を作成されます。

同様に「119」のダミー点も作成します。



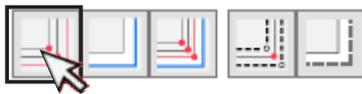
⑨ 「ルール付けに戻る」をクリックします。



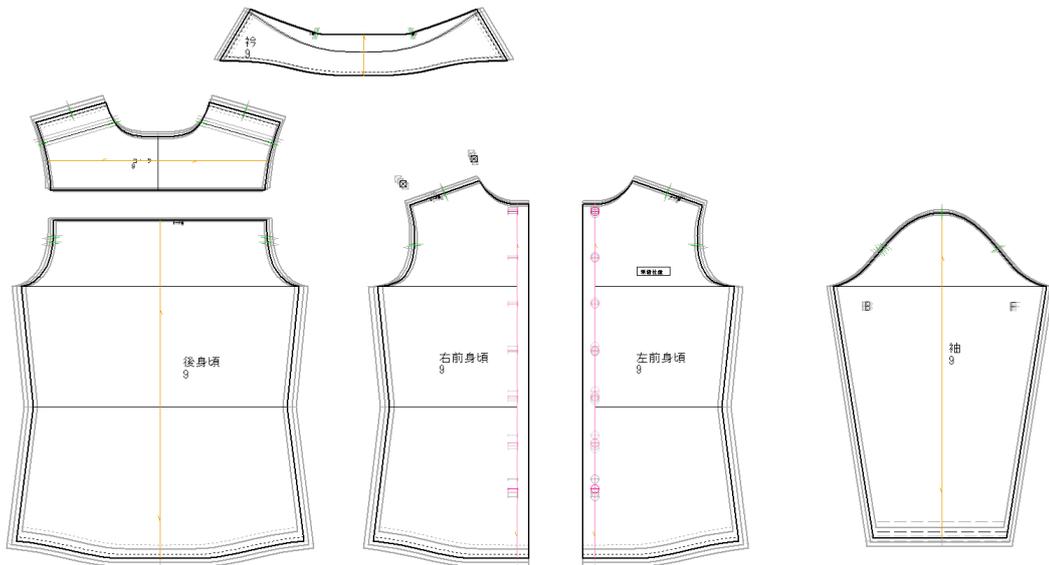
⑩ ダミー点に「110」「119」を入力します。

メモ

パーツ解除後、再度パーツ化するときには
ダミー点を忘れずパーツ化しましょう。



⑪ 「グレーディング処理」をします。
エラー表示が出なくなりました。



左前身頃にはダミー点を作成しなくてもエラー表示が出ませんでした。

なぜ??



D0-43

(解説)

グレーディングルールマニュアルを確認すると

「109」は保存ルールです。移動量は保存され、2回目からはダミー点なしで移動できます。

*109	X	110と100,608,606との2点間	○
	Y	110と100,608,606との2点間	



他のパーツもチェックし、正しくグレーディングされていることを確認しましょう。

「GR II 基礎トレーニング」は終了です。

お疲れ様でした。

まとめ動画へ

まとめ

参照動画：GT-Z_まとめ

** グレーディングルールマニュアルにのっていること **

< 特別ルール >

- ・「脇線」「袖山線」「袖口」の移動内容の違いを記載しています。
- ・選択しなければ「A」が適応します。

< グレーディング標準値計算式 >

- ・ピッチ記号やピッチ割り出しの計算式を記載しています。

< メジャー部位コード >

- ・ルールマニュアルに表示している 3 ケタの数字です。
- ・計算式が設定されています。
- ・1 パーツに 1 回しか使えない。(2 回目からは G を使用します)

< 移動量表 >

- ・メジャーコードの計算式を記載しています。

< 長さ合わせ管理 >

- ・自動計測するメジャー部位コードを記載しています。
- ・計算式の中に使用しています。

** その他のコード **

< G セイム >

- ・同じ移動量を作成するコードです。

< 残りのポイントを全て G >

- ・選択パーツ内の未入力のポイント全てに G を入力します。

< N ノッチ >

- ・ノッチに使用します。
- ・基点ポイントからノッチまでの距離をピッチ指示して線上を移動します。
- ・関連部位には基点（線が切れているポイント）を指示します。

< Z ノーグレード（残りのポイント全て Z） >

- ・全サイズ共通のサイズによって大きさを変えないパーツに使用します。
- ・移動量は「0」です。

** その他 **

< 対称プランニング >

- ・後身頃や衿などのワサパーツに使用します。

< フリップ >

- ・左前身頃など、ルールマニュアルに「フリップ」と表示があるものには設定が必須です。
- ・GR パーツ情報一覧で設定します。

< 点の追加・削除 >

- ・グレーディングポイントを追加または、削除します。

< サイズ間計測 >

- ・マスターパターンの計測箇所を指示すると、全サイズの計測結果が表示します。

< メジャー部位コード 長さ合わせ条件 >

- ・身頃の移動量を、袖や衿が引き継ぎ移動するためには、必須部位コードがあります。
- ・仕上線（外周線）上に必要です。

< ダミー点 >

- ・計算上必要な仮のグレーディングポイントです。

